

# 松山市建設工事成績評定マニュアル

平成29年10月改正

松山市総務部技術管理課

## 目次

(1) 工事成績評価について	-----	1
(2) 松山市建設工事成績評価要領の概略	-----	2
(2) - 1 工事成績評価の対象	-----	2
(2) - 2 評価者及び配点の割合	-----	2
(2) - 3 評価の時期	-----	2
(2) - 4 評価の方法	-----	2
(2) - 5 工事成績細目別審査内容及び評価者	-----	3
(2) - 6 施工プロセスチェックリスト	-----	4
(2) - 7 指導、評価方法フローについて	-----	4
(2) - 8 施工プロセスチェックリストの手引き	-----	6
1. 施工体制		
I. 施工体制一般	-----	6
II. 配置技術者	-----	13
2. 施工状況		
I. 施工管理	-----	17
II. 工程管理	-----	22
III. 安全対策	-----	23
IV. 対外関係	-----	28
(2) - 8 評価結果の提出	-----	30

(3) 工事成績評価の留意事項	-----	31
(3) - 1 共通留意事項	-----	31
(3) - 2 監督員の留意事項	-----	31
(3) - 3 監督員上司の留意事項	-----	33
(3) - 4 検査員の留意事項	-----	34
(3) - 5 是正要求等がある場合の留意事項	-----	35
(4) 工事成績評価結果の通知及び公表等	-----	36
(5) 工事成績評価基準	-----	37
(6) 工事成績評価の再交付について	-----	38
(7) 様式等	-----	39

このマニュアルは、最終改正日以降に検査する工事から適用する。

改正 平成26年4月1日

改正 平成27年4月1日

改正 平成28年4月1日

改正 平成28年6月1日

改正 平成29年4月1日

改正 平成29年5月1日

最終改正 平成29年10月1日

改正箇所（本文）は赤字で表記する。（項目全体の追加は表題のみ赤字）

## (1) 工事成績評価について

現在、入札・契約制度の改革が喫緊の課題となっており、その中で工事成績評価結果の活用が求められている。一般競争入札や指名競争入札における応札の資格要件として活用されることはもとより、総合評価方式による受注者選定に際しては重要な評価ポイントとされている。

工事成績評価は、市民の税金を投資する公共工事にあっては、品質を担保する重要な要素であり、また、受注者に対しては技術向上を図る大きな誘因となると考えられる。

工事成績評価の重要性は今後、ますます増大することが予想されるが、それに伴い、公正で客観的な基準に基づく厳密な評価が必要になる。また、それと同時に評価の方法や結果に対して、情報の透明性を担保することが要請されている。

これらのことから、従来の評価方式を改め、より客観的な運用基準に基づく新しい評価方式を導入するとともに、評価結果の受注者への通知や市民への公開も行うものとする。

## (2) 松山市建設工事成績評定要領の概略

### (2) - 1 工事成績評定の対象

工事成績評定の対象とする工事は、松山市建設工事成績評定要領により予定価格（税込）が300万円以上の工事とする。ただし、解体工事、築礎工事、浚渫工事、機器単体のオーバーホールなどの特殊工事、当該工事の特記仕様書に評定を省略することが記載された工事は対象外とする。

また、平成26年4月1日以降の工事完成検査及び指定部分完了検査、既済部分検査及び中間検査（当該工事の特記仕様書に評定の対象とすることを明示した中間検査に限る）を評定の対象とする。

### (2) - 2 評定者及び配点の割合

評定者は、検査員、監督員上司（所属長が指名する者）及び監督員が行う。配点割合は原則として、検査員40%、監督員上司20%、監督員40%とする。

### (2) - 3 評定の時期

評定の時期は、監督員上司及び監督員は工事が完成したときとする。検査員は、工事検査（指定部分完了検査、既済部分検査、中間検査（当該工事の特記仕様書に評定の対象とすることを明示した中間検査に限る））を実施したときとする。

### (2) - 4 評定の方法

- ① 評定は、評定者ごとに独立し、厳正、公正かつ客観的に行う。
- ② 評定は、「工事成績採点表等」を用いて行う。
- ③ 評定の細目別の評定点（受注者への工事成績結果の通知に使用する）の算出は、「項目別評定点採点表」を用いて行う。
- ④ 評定は「施工プロセスチェックリスト」の記録に基づいて行う。
- ⑤ 受注者は「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書」（以下「実施状況報告書」という）を提出することができる。実施状況報告書が提出された場合は、評定はこれを十分に反映させる。
- ⑥ 評定は、「松山市建設工事成績評定マニュアル」を基準に行う。
- ⑦ 工事成績採点表等は「(7) 様式等」に定めた様式を使用する。
- ⑧ 検査員は、評定にあたって、監督職員（監督員上司及び監督員）から評定に至った経緯等を聴くことができるものとする。
- ⑨ 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ⑩ 完成検査で過去に指定部分完了検査があった場合は、検査員の評定点は、評定割合を請負金額に占める対象金額の加重平均にて評定する。
- ⑪ 完成検査で過去に既済部分検査、中間検査（当該工事の特記仕様書に評定の対象とすることを明示した中間検査に限る）があった場合は、検査員の評定点は、平均値を用いて評定する。

(2) - 5 工事成績細目別審査内容及び評定者

工事成績評定における細目別審査内容及び評定者は下記の表のとおりとする。

項目	細目	審査内容	評定者
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制及び施工管理体制の評価	監督員
	II. 配置技術者	現場代理人の職務の遂行に関する評価、主任・監理技術者等の技術的判断の評価	監督員
2. 施工状況	I. 施工管理	適切かつ効率的な施工及び品質や出来形管理の実施状況の評価	監督員 検査員
	II. 工程管理	適切な工程管理の実施状況の評価	監督員 監督員上司
	III. 安全対策	安全管理に関し適切に実施されているかの評価	監督員 監督員上司
	IV. 対外関係	対外調整や周辺環境対策等について適切に実施されているかの評価	監督員
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形管理の結果についての評価	監督員 検査員
	II. 品質	品質管理が適切になされているかの評価	監督員 検査員
	III. 出来ばえ	構造物の出来具合や仕上げ状況等の出来ばえ、機能の評価	検査員
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	特異な技術力を要する技術の評価	監督員上司
5. 創意工夫	I. 創意工夫	受注者の工夫やノウハウにより特筆すべきものがあつたかの評価	監督員
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	地域社会や住民に対する配慮等の貢献についての評価	監督員上司
7. 法令遵守等	(減点のみ)	法令を守り、尊重して仕事をしていないかについての評価(していない場合は減点)	監督員上司
8. 総合評価 技術提案等 履行確認	(減点のみ)	総合評価計画書の提案内容を確実に履行しているかの評価(不履行の場合は減点)	監督員上司

## (2)－6 施工プロセスチェックリスト

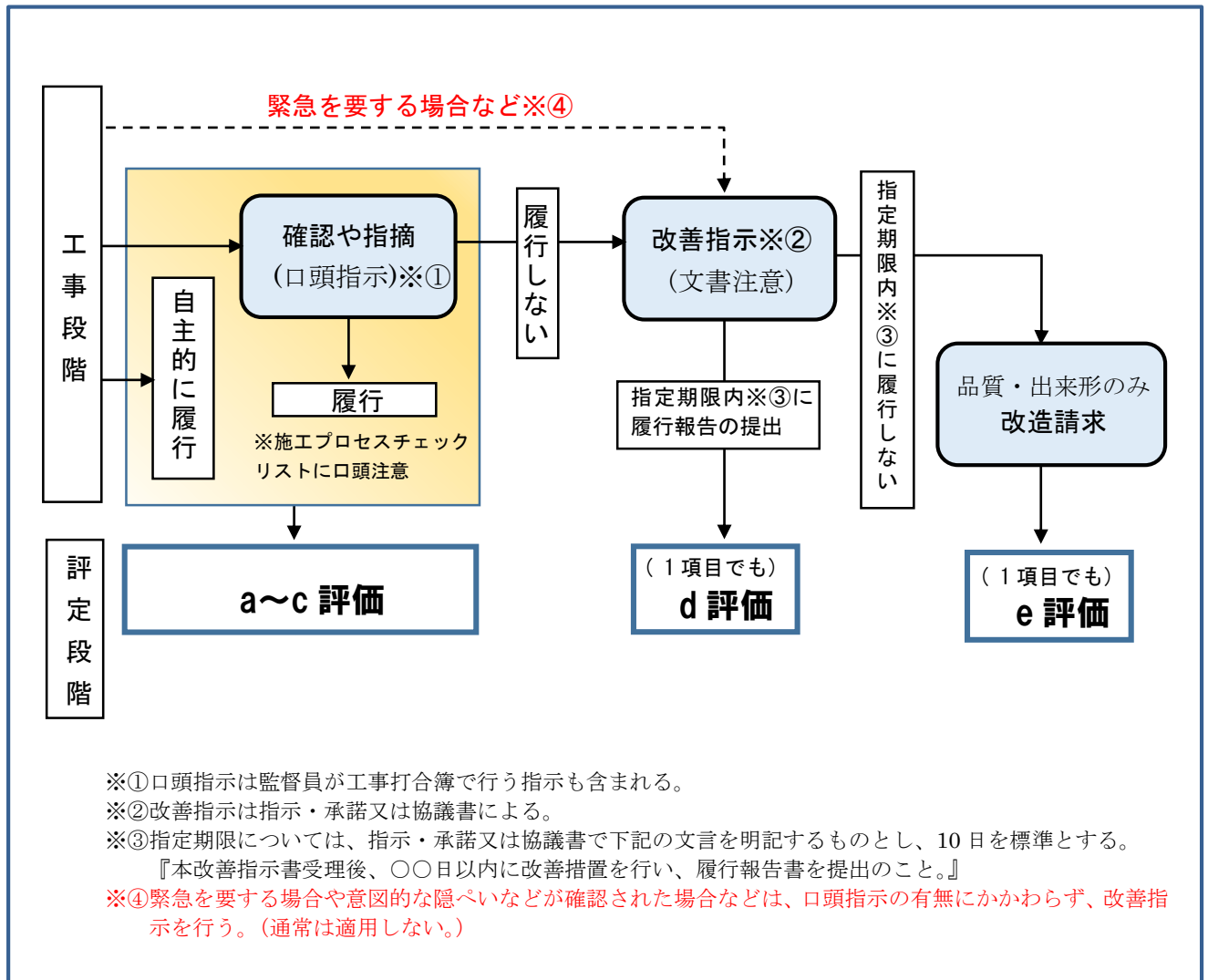
松山市の工事において監督員が施工時における各種考査項目を確認するためのチェックリストとして利用し、評価に使用する。チェックリストの記入にあたっての留意事項は以下のとおりである。

- ① 確認項目の選択にあたっては、「(2)－7 施工プロセスチェックリストの手引き」を判断基準とし、該当する項目に指示事項等を入れる。
- ② 評価は、工事着手から完成までの過程で、監督員や監督員上司がどの程度指導、助言や指示を行ったかを確認し実施する。
- ③ 評価にあたっては、客観性や透明性が要求される。したがって、評価に至る経緯を明瞭にしておく必要がある。そのため、施工プロセスチェックリストに指示事項や日付を記録することで説明できるようにする。
- ④ チェック時期と指示事項の記入に際しては、書類もしくは現場で確認した月日を記入する。
- ⑤ チェック欄に必要な応じて適正、文書注意、口頭注意等、を記入し、備考欄に指示内容等を記入する。
- ⑥ 各項目で達成度を確認し、工事成績評価に反映する。

## (2)－7 指導、評価方法フローについて

受注者の施工体制などの問題で、契約不履行に至る可能性が認められたときは、それを指摘し指導をして改善させることになるが、評価では、指導から改善に至る過程を打合せ書等で記録することになる。指導は2段階で実施する。一段階の指導は「口頭指示」又は「工事打合簿での指示」で行い、指示により改善されなければ「文書（指示、承諾又は協議書）による改善指示」により改善する。なお、「文書（指示、承諾又は協議書）による改善指示」を行った場合、各該当項目の【細別】の評価は、d又はeとなる。また、施工体制などに重大又は悪質な不備があった場合、是正要求を行うこととなるが、その評価は法令遵守等の書面注意に該当する。指導、評価方法については、次ページの評価フロー図に基づき、適切に実施することとする。

松山市建設工事成績評定評価フロー





## (2) - 8 施工プロセスチェックリストの手引き

### 1. 施工体制

#### I. 施工体制一般

##### 1) 工事カルテ

1-1) 事前に監督員の確認を受け、契約締結後10日以内(土、日曜日、祝祭日を除く)に登録機関に申請が完了している。(受注契約後、変更契約後)

##### <チェックポイント>

書類確認：受注時(及び訂正時)、変更時及び竣工時の登録状況について、工事カルテの受領書の写しにより登録日、内容が適正に登録されたかを確認する。特に技術者が複数登録されている場合は、契約内容と確認する。

##### <判断基準>

適性	「工事カルテ受領書」により登録日までに適正に登録された事が確認できた。
口頭指示	期日内の確認が出来なかったため、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	登録申請忘れがあったため、登録申請を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	請負金額500万円未満

##### 2) 施工管理体制

2-1) 現場代理人及び主任(監理)技術者届、当初契約工程表が契約締結後14日以内に提出されている。

##### <チェックポイント>

書類確認：現場代理人及び主任(監理)技術者届け及び契約工程表が、適正な内容で、契約後14日以内に提出されているか確認する。その際、技術者の要件を満たしているか確認する。(建設業法第7条第2号の規定による資格があるか等)

##### <判断基準>

適性	適正な書類の提出を、期日内に確認できた。
口頭指示	書類の不備、提出の遅れがあり、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	現場代理人及び主任(監理)技術者が定められていなかったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。又は、資格要件等に問題があったため、適正な技術者の配置を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。

2-2) 主任(監理)技術者が工事途中及び立会検査等の事前に現場の確認を行っている。  
(施工途中、検査の前等)

<チェックポイント>

書類確認：主任(監理)技術者が施工内容(工程管理、品質管理、出来形管理、写真管理、副産物管理)を把握し、適切な施工管理をおこなっているかを確認する。

<判断基準>

適性	測定(試験)等の結果や管理図表等を、主任(監理)技術者が確認を行っていることが、工事関係資料等で確認できた。
口頭指示	測定(試験)等の結果や管理図表等を作成しているが、主任(監理)技術者は確認を行っていなかったため、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	主任(監理)技術者が適正な管理を行っていなかったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。

### 3) 建設業退職金共済制度

3-1) 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。  
(施工中1回程度)

<チェックポイント>

現場確認：掲示確認をする。

書類確認：掲示状況のわかる写真を提出させ確認する。

<判断基準>

適性	現場及び写真等により工事関係者の見やすい場所に掲示されているのを確認した。
口頭指示	建退共の標識が掲示されていなかったため、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	建退共の標識を掲示するよう、指示(文書注意)を行った。
対象外	事前に受注者及び下請業者(2次、3次含む)が他の退職金制度に加入していることが明らかな場合

### 3-2) 建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。

(施工中適宜)

#### <チェックポイント>

書類確認：建設業退職金共済制度の趣旨を作業員等に説明するとともに、建設業退職金共済証紙の配布を受払簿等により適切に管理していることを確認する。

#### <判断基準>

適性	証紙の配布を受け払い簿等により、適切に管理されているのを確認した。
口頭指示	証紙の配布を受け払い簿等の管理に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	証紙の配布を受け払い簿等の管理について、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	事前に受注者及び下請業者（2次、3次含む）が他の退職金制度に加入していることが明らかな場合

### 4) 労働保険関係成立票

#### 4-1) 労災保険関係成立票を公衆の見やすい場所に掲示している。（施工中1回程度）

#### <チェックポイント>

現場確認：標識の掲示状況と記載技術者を届出書類により確認する。

書類確認：写真により、その掲示状況を確認する。

#### <判断基準>

適性	記載内容が、適正で公衆の見やすい場所に設置されているのを確認した。
口頭指示	記載内容や設置に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	標識等の設置や記載内容の不備について、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

### 5) 建設業許可標識

#### 5-1) 建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、主任（監理）技術者を正しく記載している。（施工中1回程度）

#### <チェックポイント>

現場確認：標識の掲示状況と記載技術者を届出書類により確認する。

書類確認：写真により、その掲示状況を確認する。

#### <判断基準>

適性	記載内容が適正で公衆の見やすい場所に設置されているのを確認した。
口頭指示	記載内容や設置に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	標識等の設置や記載内容の不備について、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

6) 工事下請通知書（施工体制台帳等）

6-1) 工事下請通知書と施工体制台帳等を下請工事の着手日までに提出している。

（施工中適宜）

<チェックポイント>

現場確認：作業状況から、下請契約書の日付と下請業者の着手日の整合を確認する。

書類確認：工事下請通知書の日付、下請契約書との日付が適切かどうか確認し、下請業者の着手日までに通知書が提出されているか、松山市の指名停止期間中でないか確認する。

<判断基準>

適性	適正な工事下請通知書が提出された。
口頭指示	工事下請通知書が、下請業者の着手日より遅れて提出されたので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	工事下請通知書が提出されず、作成、提出を求める指示（文書注意）を行った。 また、提出された下請通知書の記載内容に不備が修正されず、監督職員が助言・指導（文書通知）を行った。
対象外	下請工事がない場合。

7) 施工体制台帳等に関する資料

7-1) 施工体制台帳を現場に備え付け、かつ適宜変更の都度同一のものを提出している。  
(施工時の当初、変更時)

<チェックポイント>

現場確認：提出された施工体制台帳と現場に備え付けの施工体制台帳を照合し、その添付書類を確認する。

書類確認：施工体系図により、施工体制台帳作成義務の有無を確認する。

<判断基準>

適性	適正な施工体制台帳が提出された。
口頭指示	提出された台帳との相違や記載内容に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	施工体制台帳の作成、提出を求める指示（文書注意）を行った。 提出された台帳との相違や記載内容に不備が修正されず、監督職員が助言・指導（文書通知）を行った。
対象外	下請工事が無い工事は、評価の対象外とする。

7-2) 下請負契約書（写）又は請書（写）及び再下請負通知書を添付している。  
(施工時の当初、変更時)

<チェックポイント>

現場確認：作業状況の現場確認、現場聞き取りにより施工体制台帳（施工体系図）と現場体制が相違ないか確認し、添付資料により契約金額を確認する。

書類確認：施工体制台帳（施工体系図）の記載内容について、「施工体制台帳記載例」等に基づき、下請負業者の工事範囲、契約状況を確認する。

施工体制台帳（施工体系図）と下請通知書の記載内容が相違ないか確認する。

松山市暴力団排除条例に基づき、130万以上の下請契約は誓約書を添付しているか確認する。

<判断基準>

適性	施工体系図に下請負金額が記入されており、施工体系図と施工体制台帳（再下請負通知書含む）の金額が合致しており、添付資料も整理され、適正な施工体制台帳が確認できた。
口頭指示	下請負金額を記入した施工体系図の提出を求める指示及び、記載内容に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	施工体制台帳の作成、提出を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	下請工事が無い工事は、評価の対象外とする。

7-3) 施工体系図の内容が適正であり、かつ工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。(施工時の当初、変更時)

<チェックポイント>

現場確認：施工体系図の掲示状況を確認する。

書類確認：掲示状況が把握できる写真にて確認をする。

<判断基準>

適性	現場及び写真等により工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示されているのを確認した。
口頭指示	施工体系図の掲示や記載内容に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	施工体系図の掲示や記載内容の不備の是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	下請工事が無い工事は、評価の対象外とする。

7-4) 施工体系図に記載のない業者が作業していない。

(施工中1回/月程度)

<チェックポイント>

現場確認：当日の作業業者の聞き取りを行い、施工体系図と照合し建設会社名を作業員の作業服やヘルメット等で確認する。

<判断基準>

適性	現場内作業業者が施工体系図（台帳）に記載されている業者であることを作業服やヘルメット等により確認できた。
口頭指示	施工体系図と現場内作業業者の一致が確認できなかったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	記載以外の技術者が従事しており、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	下請工事が無い工事は、評価の対象外とする。

7-5) 受注者がその下請工事の施工に実質的に関与している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：作業手順等の指示の確認、下請負人への指示事項について、主任技術者への聞き取り等により下請負人に対して主体的に施工指導が行われているか確認する。また、工程打合せの記録、各管理の記録等で確認する。

<判断基準>

適性	下請負人への作業手順等の指示がなされており、その主体的な指導監督が確認できる。
口頭指示	下請負人への作業手順等の指示がなされているが、指導監督状況が不明瞭であり、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	下請負人へ指導監督が不十分であり、下請工事の作業内容を把握しておらず、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	下請工事が無い工事は、評価の対象外とする。

## Ⅱ. 配置技術者

### 8) 現場代理人

8-1) 現場代理人は、現場に常駐している。(施工中1回/月程度)

#### <チェックポイント>

現場確認：現場代理人の常駐状況を確認する。常駐緩和が認められている場合は、携帯電話等で速やかに連絡がとれる体制にあるか確認する。

書類確認：電話連絡等によりその連絡体制を確認する。

#### <判断基準>

適性	現場代理人に常に連絡がとれる体制にあり、業務に支障がない。
口頭指示	連絡体制等の不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	現場代理人に連絡がとれないことがあったため、連絡体制の改善を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。

8-2) 現場代理人は、監督職員との連絡調整、協議等を書面で行っている。

(施工中適宜)

#### <チェックポイント>

書類確認：監督職員との連絡調整の事務処理記録や工事記録の状況について、現場代理人として把握しているか確認する。また、書類の提出は必ず現場代理人本人であることを確認する。

#### <判断基準>

適性	現場代理人として工事全体を把握し、監督職員との連絡調整も良好である。
口頭指示	工事全体の把握状況、連絡調整の不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	工事全体の把握状況、連絡調整の不備について、改善を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。



## 9) 監理技術者（主任技術者）の専任等

9-1) 監理技術者（主任技術者）が現場に専任している。（専任義務は建築一式工事7,000万円以上、その他工事3,500万円以上）（平成28年5月31日までは、建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上）（施工中1回/月程度）

### <チェックポイント>

現場確認：監理技術者の専任または主任技術者の専任（兼務含む）状況を確認する。

疑義がある場合は現場での把握頻度を増やし、必要に応じ不在の理由等を聞く。

### <判断基準>

適性	監理技術者（主任技術者）の現場の専任を確認した。
口頭指示	連絡漏れ等の不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	現場への専任状況が確認できない為、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	専任義務なしの場合。

9-2) 施工計画や工事に係わる工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっている。

（施工中、打合せ時）

### <チェックポイント>

現場確認：設計内容や現場進捗状況、発注者との協議や打合せの実施状況などの聞き取り等により、受注者の監理技術者（主任技術者）が主体的に実質的に関与しているか確認する。

### <判断基準>

適性	設計内容、現場条件、技術的事項など十分に把握され発注者との打合せも主体的に実施している。
口頭指示	設計内容、現場条件、技術的事項など把握状況に不明瞭なところがあったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	設計内容、現場条件、技術的事項など把握状況が不十分であり、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

## 10) 専門技術者の配置

10-1) 専門技術者を選任し、配置している。(施工計画時、施工中適宜)

### <チェックポイント>

現場確認：専門技術者が現場に配置されているかどうかを確認する。

書類確認：土木(建築)一式工事の場合において、これら一式の内容である他の建設工事を自ら施工しようとするとき、又は、土木(建築)一式工事以外の工事の場合において、当該工事に附帯する他の建設業に係る建設工事を自ら施工するときは、専門技術者を選任し、適正な資格要件で通知されているか確認する。※対象部分の請負金額が500万円未満(建築一式工事では、1,500万円未満)の工事は、専門技術者の選任は必要としない。

○資格要件は、主任技術者と同じ

### <判断基準>

適性	専門技術者を適切に選任し、現場に配置されているのを確認した。
口頭指示	選任漏れや現場への配置に不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	選任や配置状況が悪かったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	選任が必要ない場合。

## 11) 作業主任者の選任

11-1) 作業主任者を選任し、配置している。(施工計画時、施工中適宜)

### <チェックポイント>

現場確認：作業主任者が関係作業員に周知され当該作業に従事する労働者の指揮等を行っているか確認する。

書類確認：労働安全衛生法施行令第6条により定められている作業主任者を選任すべき作業において、資格を有する者のうちから選任し施工計画書に、作業主任者の記載、資格等の添付がなされているか確認する。

### <判断基準>

適性	作業主任者を適切に選任し、現場に配置されているのを確認した。
口頭指示	選任漏れや現場への配置に不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	選任や配置状況が悪かったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	選任が必要ない場合。

## 1 2) 監理技術者（主任技術者）の能力

### 1 2-1) 施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。（施工中適宜）

#### <チェックポイント>

書類確認：工事関係書類（施工計画書、工事打合せ簿、図面等）により創意工夫又は提案が事前に記載されてあるか確認する。また、実施状況報告書等により施工等により反映されているか確認をする。

#### <判断基準>

適性	工事関係書類により、創意工夫又は提案が確認された。
対象外	創意工夫を必要としない簡易な工事

### 1 2-2) 書類及び資料が適切に整理されている。（施工中適宜）

#### <チェックポイント>

書類確認：施工計画書、工事打合せ簿、図面等の書類が適切に整理されており、監督職員の求めに、即座に対応できていることを確認する。

#### <判断基準>

適性	施工計画書、工事打合せ簿、図面等の書類が整理されていることを確認した。
口頭指示	施工計画書、工事打合せ簿、図面等の書類整理に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	施工計画書、工事打合せ簿、図面等の書類が無く、現場業務に支障を与えたため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

### 1 2-3) 施工体制、施工状況を把握し、下請負業者、部下等をよく指導している。

（施工中適宜）

#### <チェックポイント>

現場確認：監理技術者（主任技術者）が、下請業者や部下の作業内容等を把握できており、指導が行き届いているか確認する。

#### <判断基準>

適性	下請業者や部下の作業内容等を把握できており、指導が行き届いている。
口頭指示	現場作業の把握が十分でなく、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	下請作業等を十分把握できてなく、監督員との打合せや、現場作業等に支障を与えたため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

## 2. 施工状況

### I. 施工管理

#### 1 3) 設計図書の照査等

1 3-1) 契約書第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行っている。  
(着手前、施工中適宜)

##### <チェックポイント>

書類確認：設計図書の照査の実施を受注者自ら実施した事を確認する。

##### <判断基準>

適性	設計図書の照査を実施した事が確認できた。
口頭指示	設計図書の照査を実施した事に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	設計図書の照査を実施した事が確認できなかったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

1 3-2) 現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提示して確認を受けた。(着手前、施工中適宜)

##### <チェックポイント>

書類確認：工事関係書類（施工計画書、工事打合せ簿、図面等）をもとに確認する。

##### <判断基準>

適性	確認できる資料が速やかに提示され、監督職員の確認を受けた。
口頭指示	確認できる資料に不備があったため、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	確認できる資料が提示されなかったため、提出を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	現場との相違事実がない場合

#### 1 4) 施工計画書

1 4-1) 施工に先立ち、設計図書及び現場条件を反映した内容のものが提出されている。  
(着工前、変更時)

##### <チェックポイント>

書類確認：設計図書及び現場条件を反映した内容の施工計画書が施工に先立ち提出されたか確認する。

また、工期の変更、重要な工事の内容変更等があった際に、変更の施工計画書が提出されたか確認する。

##### <判断基準>

適性	適切な内容が記載され、かつ施工（変更を含む）される前に提出された。
口頭指示	内容、提出時期に問題があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	施工前（再提出期限も同じ）に提出されなかったため、提出を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

14-2) 記載内容と現場施工方法が一致している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：施工計画書に記載された作業フロー、使用機械、仮設備計画等と、現場施工方法が一致しているか、必要事項の記載、書類の添付状況により確認する。

<判断基準>

適性	記載内容と現場施工方法が一致していることが、確認された。
口頭指示	記載内容または現場施工方法に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	記載内容または現場施工方法に不備あったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

14-3) 記載内容と現場施工体制が一致している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：施工計画書の記載内容（現場組織表・安全管理体制・作業手順等）が、現場施工体制と一致しているか、必要事項の記載、書類の添付を確認する。

<判断基準>

適性	記載内容と現場施工体制が一致していることが確認された。
口頭指示	記載内容または現場施工体制に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	記載内容または現場施工体制に不備があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

15) 施工管理（工事材料管理・出来形・品質管理）

15-1) 工事材料が監督員に事前に承諾され、適切に管理している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：現場での製品等の保管状況及び適切な材料等を使用しているか確認する。

書類確認：工事に使用する材料の品質を証明する資料を確認する。

<判断基準>

適性	工事材料に関する資料が整理され、また、事前に承認された工事材料の適切な管理とその使用が確認された。
口頭指示	使用、管理状況等に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	材料等のチェックや保管管理状況に問題があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

15-2) 品質確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。(施工中適宜)

<チェックポイント>

【土木工事】

書類確認：品質証明の対象工事（請負金額2,500万円以上）において、品質証明員の資格が適正であり、施工計画書に品質証明員に関する資料の添付があることを確認する。工事全般にわたり、適切に品質証明を実施したかを品質証明書および実施状況写真により確認する。

<判断基準>

適性	工事関係資料等により、適切に品質証明を実施したことが書面にて確認された。
口頭指示	施工計画書に品質証明員に関する資料の添付がなかった。または、適切に品質証明を実施されていなかったため、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	品質証明の実施に関して問題があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	請負金額2,500万円未満の工事。ただし、請負金額2,500万円未満の工事においても、適切に品質証明を実施したことが書面にて確認された場合は、評価の対象とする。

【建築工事】

書類確認：施工計画書における施工管理計画の品質管理計画の項目で品質確保のための対策又は独自の工夫等が明記されているか、実施状況写真などと共に確認する。

<判断基準>

適性	工事関係資料等により、品質確保のための対策など施工に関する工夫や、実施状況写真等が、書面にて確認された。
口頭注意	品質確保のための対策などの資料に不備があった。また、品質管理にかかる実施状況写真等が無かったため、監督職員が助言・指導（口頭注意）を行った。
文書注意	品質確保のための対策などの資料が無かったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	簡易な計画及び請負金額2,500万円未満の工事については、評価しない。 ただし、請負金額2,500万円未満の工事においても、適切に品質確保のための対策を実施したことが書面にて確認された場合は、評価の対象とする。

15-3) 施工途中の出来形、品質管理が書面で確認できる。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：日常の出来形や品質管理状況を記録により確認する。

<判断基準>

適性	出来形管理、品質管理の日常管理について、良好な管理状況が確認された。
口頭指示	出来形管理、品質管理の日常管理に不明瞭な点があったため、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	出来形管理、品質管理の日常管理に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

15-4) 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：現場内での整理整頓が日常的に行われているか確認する。

<判断基準>

適性	現場内での整理整頓が日常的に行われているか確認できた。
口頭指示	現場内に整理整頓されていない場所があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	現場内に整理整頓がされていないために、安全通路等確保されず、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。

16) 検査(確認を含む)及び立会等の調整

16-1) 監督員の立会にあたって予め連絡をしている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：書面等による立会いの依頼、実施が適切に行われたか確認する。

<判断基準>

適性	事前に連絡され、監督職員による立会いの実施等が適切に行われた。
口頭指示	事前に連絡されず不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	事前の連絡が適切に行われなかったため、監督職員による立会いによる検査(確認を含む。)ができず、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし。

16-2) 段階確認の確認時期が、適切である。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：段階確認(種別、細別、確認時期項目、施工予定時期等)の依頼が適切に行われたか段階確認書で確認する。

<判断基準>

適性	段階確認にかかる予定について概ね1週間前に連絡を受け、監督職員による段階確認の実施等が適切に行われた。
口頭指示	段階確認の確認時期の連絡に不備があったので、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	段階確認の確認時期の連絡に不備があり、段階確認が適切に行われなかったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	段階確認を行う必要のない工事

## 17) 建設副産物及び建設廃棄物

17-1) 受注者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示した。（施工中適宜）

### <チェックポイント>

現場確認：現場立会により、処分状況を確認する。

書類確認：マニフェスト及び産業廃棄物処理委託契約書、処理状況写真等について確認する。マニフェストの「車種」と実処分重量及び過積載について、伝票等で確認する。

### <判断基準>

適性	産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されたことが確認された。
口頭指示	確認資料に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	処理方法、確認資料等に問題があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	産業廃棄物が発生しない場合

17-2) 再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び産業廃棄物処理計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。（施工中適宜）

### <チェックポイント>

書類確認：再生資源利用（利用促進）計画書及び産業廃棄物処理計画書の記載内容について確認をする。

### <判断基準>

適性	再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び産業廃棄物処理計画書が適正に作成され、施工計画書に含め提出された。
口頭指示	記載内容に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び産業廃棄物処理計画書の提出を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

## 18) 指定建設機械類の確認

18-1) 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。（施工中1回程度）

### <チェックポイント>

現場確認：建設機械の使用状況を認定シール等で確認する。

書類確認：建設機械の使用状況を、認定シールが把握できる写真の提出により確認する。

### <判断基準>

適性	指定建設機械が、仕様書に従い適正に使用されていることが確認された。
口頭指示	指定建設機械の使用が確認できなかったため、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	指定建設機械以外の使用があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	低騒音、低振動及び排ガス対策型の建設機械の使用が義務付けられていない工事又は使用しない事について監督員の承諾を得た工事。



## Ⅱ. 工程管理

### 19) 工程管理

19-1) 実施工程表が提出され、工程の管理を行っており、関連工事との調整も適切に行っている。(着手前、施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：工事の履行状況を実施工程表（パソコン内のデータでも可）により確認する。

<判断基準>

適性	実施工程表により適正に管理されている。
口頭指示	実施工程表により管理を行うよう、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	工程管理に関して問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

19-2) 工期及び、内容変更が伴う場合、変更協議が書面にて行われ、契約後14日以内に変更工程表が提出されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：工期や内容変更がある場合、現場において監理技術者(主任技術者)により説明を受け確認する。

書類確認：現場条件の変化に伴う施工計画、工程変更等に対し、適正に対応しているか書面にて確認し、変更契約後14日以内に変更工程表が提出されている。

<判断基準>

適性	工期及び、内容変更が適切に対応されている。
口頭指示	変更に伴う調整や報告に不備があり、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	変更に伴う調整や報告に問題あったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	変更がない場合

19-3) 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：現場で工程に関する質問等を行い、工程管理を詳細工程表等により、日常的に把握しているか確認する。

<判断基準>

適性	工程管理を詳細工程表等により、日常的に把握している。
口頭指示	工程管理が日常的に把握されておらず、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	工程管理に問題あったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

### Ⅲ. 安全対策

#### 20) 安全活動

20-1) 災害防止協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。

(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：災害防止協議会の設置状況、開催状況及び安全衛生責任者等の参加状況を工事関係資料等により確認する。

<判断基準>

適性	災害防止協議会を設置し、1回/月以上開催している記録を確認できた。
口頭指示	災害防止協議会を設置しているが、開催している記録が確認されず、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	災害防止協議会を設置していない、または設置しているが開催していないことが確認されたため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	元請、下請合わせて※常時50人以上（ずい道等の建設、圧気工法による作業、橋梁の建設の場合は常時30人以上）の労働者が混在する工事現場でない場合

※常時50人とは、初期の準備工事、終期の手直し工事等の工事を除く期間、平均一日当たり50人であることをいう。

20-2) 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。（施工中適宜）

<チェックポイント>

書類確認：労働安全衛生法15条の3により店社安全衛生管理者の選任が義務付けられている工事（ずい道・橋梁の建設の仕事、圧気工法の作業、主要構造部が鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造の建設の仕事で常時20人以上）では、月1回以上の巡視を書面、工事写真、日報等により、店社パトロールを実施しているかどうかを確認する。

<判断基準>

適性	店社パトロールを1回/月以上実施している記録が確認された。
口頭指示	店社パトロールを実施していることが確認されず、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	店社パトロールを実施していなかったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	店社安全衛生管理者の選任が義務付けられていない工事。ただし、店社パトロールを1回/月以上実施している記録が確認された場合は、評価の対象とする。

20-3) 安全教育、安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：施工計画書に基づき、安全訓練等の実施状況、参加状況等を工事関係資料等により確認する。

<判断基準>

適性	安全訓練等が月当たり、半日以上行われた記録がある。
口頭指示	安全訓練等の実施や記録に不備があり、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	安全訓練等を実施していない、または、実施しているが記録がなかったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし

20-4) 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：作業日毎に安全巡視、TBM、KY等を実施しているかを工事関係資料等(安全日誌等)により確認する。

<判断基準>

適性	安全教育等が行われた記録や安全日誌等が確認された。
口頭指示	安全教育等の記録や安全日誌等に不備があり、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	安全日誌等はなく、安全巡視もしていないなど問題があったため、是正を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	対象外なし

20-5) 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され記録が整備されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：新規入場者にミーティングを行い、資格・免許の確認や現場特性の説明等を実施している状況を工事日報、工事写真、報告書等で確認する。

<判断基準>

適性	新規入場者教育に関する指導及び援助を行っている記録を確認できた。
口頭指示	新規入場者教育に関する指導及び援助に問題があり、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	新規入場者教育に関する指導及び援助を行っていないため、改善を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	新規入場者がいない場合

20-6) 過積載防止に十分に取り組んでいる。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：運搬車両の積載状況を確認する。

書類確認：過積載防止の取り組みの記録や実重量記録資料等を確認する。

<判断基準>

適性	過積載防止の取り組みが行われていることが確認できた。
口頭指示	過積載防止の取り組みが行われていないことが確認できず、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	過積載防止の取り組みが行われておらず、問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	積載を伴わない工事

20-7) 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：現場工事車両の特定自主検査済標章を確認する。

書類確認：車両機器類の点検状況報告書等により、その状況を確認する。

<判断基準>

適性	定期自主検査等が行われ、実施記録も整理されているのが確認できた。
口頭指示	点検や記録に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	点検や記録に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	対象外なし。

20-8) 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：重機作業の状況を確認する。

書類確認：点検記録簿等の工事関係資料をもとに確認する。

<判断基準>

適性	適切な分離措置が実施されているのが確認された。
口頭指示	分離措置に不備が確認されたので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	分離措置がなされておらず、安全管理上に不備があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	重機作業が無い場合

20-9) 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：山留め、仮締切等について、土木工事安全施工技術指針等による各段階における点検管理チェックリスト・現場掲示等について確認する。

(設置完了時の点検、作業開始前点検、定期点検)

<判断基準>

適性	適正な時期に各種点検が行われているのが確認できた。
口頭指示	適正な時期に各種点検が行われていないのが確認できず、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	適正な時期に各種点検が行われておらず、問題があったため、改善を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	山留め、仮締切等がない工事。

20-10) 足場や支保工の設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：足場や支保工について、土木工事安全施工技術指針等による各段階における点検・管理チェックリスト・現場掲示等について確認する。

(組立完了時の点検、作業開始前点検、定期点検)

<判断基準>

適性	適正な時期に各種点検が行われているのが確認できた。
口頭指示	適正な時期に各種点検が行われていないのが確認できず、監督職員が助言・指導(口頭指示)を行った。
文書注意	適正な時期に各種点検が行われておらず、問題があったため、改善を求める指示(文書注意)を行った。
対象外	足場、支保工がない工事。

20-1 1) 工事現場における保安施設等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。(施工中適宜)

<チェックポイント>

現場確認：現場での保安施設設置状況及び管理状況を確認する。

書類確認：保安施設等の点検管理記録等により、その状況を確認する。

<判断基準>

適性	保安施設等の設置状況が適切であり、管理も的確であることが確認できた。
口頭指示	保安施設等の設置状況や点検、管理に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	保安施設等の設置状況や点検、管理に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	保安施設等の設置が必要ない場合。

20-1 2) 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：各種安全パトロールが実施され、改善すべき点等を下請負業者等に対して指導しているかどうかを工事関係資料により確認する。

<判断基準>

適性	指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示した記録が確認できた。
口頭指示	指摘事項や是正事項について、改善に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	指摘事項や是正事項について、改善が図られなかったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	各種安全パトロールで改善等を要する事項がなかった工事

#### IV. 対外関係

##### 21) 関係機関等

21-1) 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整をしている。

(施工中適宜)

<チェックポイント>

書類確認：受注者が実施すべき関係官公庁等に対する必要な諸手続き、連絡等（道路使用許可・占用許可等）を適正に実施し、関係者とのトラブルが発生しなかったかを確認する。

<判断基準>

適性	関係機関との協議等が適切に行われ、許可書類等の確認ができた。
口頭指示	関係機関との協議不足等があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	関係機関との協議等に問題があったため、是正を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	官公庁等との折衝や調整の必要のない工事

21-2) 工事施工にあたり、近隣住民（入居官署等）との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対応を適切に行い、その内容の報告がある。（施工中適宜）

<チェックポイント>

書類確認：受注者が実施すべき工事に先立つ地元関係者（地権者、自治会、水利関係等）への挨拶、詳細な工事実施時期の説明、仮排水等の切替日時調整等を実施したかを確認する。また、地元からの苦情に対して、誠意を持って解決にあたったかを確認する。

<判断基準>

適性	地元住民等との交渉、苦情を直ちに報告し、適切な対応を行ったことが、確認できた。
口頭指示	地元住民等との交渉、苦情処理などへの対応、報告に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	地元住民等との交渉や苦情などへの対応に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	近隣住民（入居官署等）との交渉や苦情が無かった場合

21-3) 隣接工事又は、施工上密接に関連する工事と相互に協力を行っていることが確認できる。(施工中適宜)

＜チェックポイント＞

書類確認：近隣工事や施工上密接に関係する他工事の受注者との打合せ記録、事前立会、試掘等の立会記録等を確認する。

＜判断基準＞

適性	近接工事や施工上密接に関係する他工事の受注者との工程調整、立会等が適切に実施、管理が行われていることが確認できた。
口頭指示	近接工事や施工上密接に関係する他工事の受注者との工程調整、立会等に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	近接工事や施工上密接に関係する他工事の受注者との工程調整、立会等に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	隣接工事又は施工上密接に関連する工事がない場合

21-4) 工事の目的及び内容を、看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。(施工中適宜)

＜チェックポイント＞

現場確認：工事看板以外の工事の目的等を示した看板を積極的に設置するなど、地域住民等へ分かりやすく周知しているかを確認する。

＜判断基準＞

適性	工事の目的等を、地域住民等へ分かりやすく周知している。
口頭指示	工事の目的等を、地域住民等へ周知する際に不備があったので、監督職員が助言・指導（口頭指示）を行った。
文書注意	工事の目的等を、地域住民等へ周知する際に問題があったため、改善を求める指示（文書注意）を行った。
対象外	地域住民等へ周知の必要がない工事

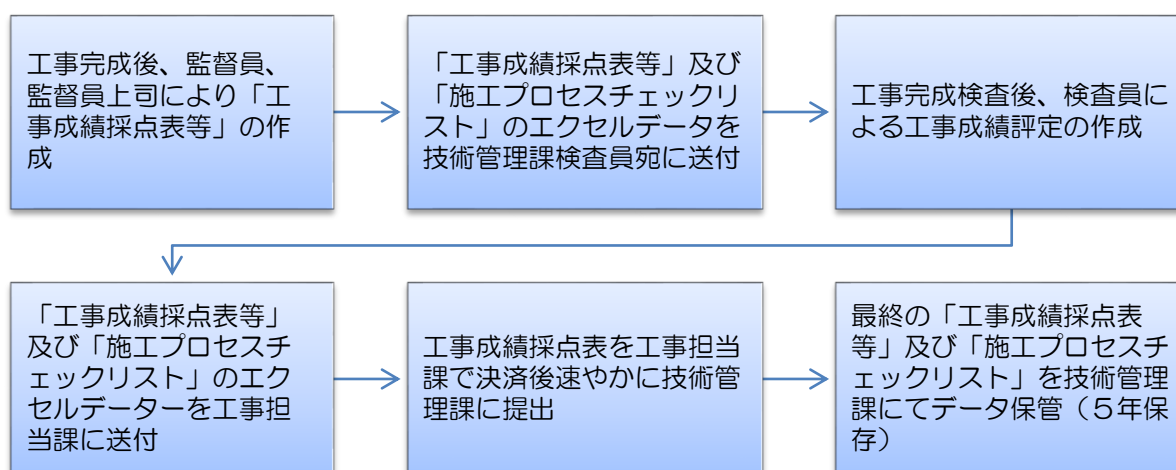


## (2) - 8 評価結果の提出

評価は監督員及び監督員上司にあつては、工事完成時に行い、「工事成績採点表等」及び「施工プロセスチェックリスト」のエクセルデータを、検査員に提出するものとする。

検査員は工事完成検査、指定部分完了検査及び既済部分（中間）検査終了後すみやかに評価を行い、工事完成検査終了時に「工事成績採点表等」及び「施工プロセスチェックリスト」をあわせて、技術管理課長に提出するものとする。

尚、最終の「工事成績採点表等」及び「施工プロセスチェックリスト」は、技術管理課にて、データで5年間保管するものとする。



### (3) 工事成績評定の留意事項

#### (3) - 1 共通留意事項

- ① 考査項目別運用表は、採点する判断、根拠を項目に表しチェックするものであり、より高い客観性、透明性を求めたものである。
- ② 評価対象項目の口欄の取り扱いについて
  - a) 評価対象項目が工事の評価内容に該当し、評価の対象になる場合
    - ・評価対象とする場合は、チェック欄の口へ「レ」マークを入力する。
    - ・加点（評価）する場合は、チェック欄の口へ「レ」マークを入力する。
    - ・加点（評価）しない場合は、チェック欄の口を「空白」とする。
  - b) 評価対象項目が工事の評価内容に該当せず、評価の対象とならない場合
    - ・評価対象外として「ー」とする。
- ③ 各考査項目の採点にあたっては、検査員の評価に先立ち、監督員及び監督員上司が記入することを原則とする。
- ④ 各考査項目の「その他」については、「ー」は記入しない。特別に評価する場合のみ「レ」マークを入力するものとし、併せて理由についても記入すること。
- ⑤ 削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の口に『ー』を入れてC評価とする。
- ⑥ 各考査項目の採点がd,e評価の場合には、所見欄に、その内容を記入する。
- ⑦ 考査項目の4.工事特性、5.創意工夫、6.社会性等、7.法令遵守等、8.総合評価 技術提案等履行確認の加点、減点評価がある場合は、所見欄にその内容を記述する。

#### (3) - 2 監督員の留意事項

留意事項は、以下に示すとおりとし、細部については「施工プロセスチェックリスト」を基に達成度80%以上について評価「レ」マークを入れるものとし、80%未満の場合は空白、対象外については、「ー」を入れるものとする。尚、文書注意が一つでもあれば、その項目については空白とする。「施工プロセスチェックリスト」の無い項目については、下記の要領にて評価するものとする。

- ① 施工体制
  - a) 施工体制一般は、工事現場の施工体制を評価する。施工計画書、施工体制台帳、施工体系図、現場代理人及び主任(監理)技術者等の適正配置、建設業法を遵守した下請負業者の選定、提出書類の適切さ等を基に評価する。
  - b) 配置技術者として現場代理人の常駐義務や職務の状況、主任・監理技術者の技術力及び専任義務状況等、施工全般が評価対象になる。
- ② 施工状況

施工状況として、施工管理、工程管理、安全対策、対外関係の4項目を評価する。

  - a) 施工管理は、設計図書に合致した施工がなされたかを施工過程において、検証する。主に工事関係書類や担当監督員の監督業務等の中で確認し評価する。また、工事記録写真等により、適正な施工がなされたか確認する。

- b) 工程管理について、着工は速やかになされたか、実施工程に無理がなかったか、品質に影響するような無理な工程はなかったか、工程が遅れた場合回復の努力がされたか、書類の提出も含めて余裕をもって工期内に完成したかなどを評価する。
- c) 安全対策の実施状況を、事故発生防止の日常的な取組み、未然に防止する努力がなされているかなどの観点から評価する。
- d) 工事施工中の建設副産物の処理状況、交通渋滞対策や周辺環境対策及び地元住民、関係機関との調整状況などを評価する。
- e) 「創意工夫」「地域への貢献」「工事特性」での加点がある場合は、必ず工事成績採点表の所見欄に、その内容を記入する。

### ③ 出来形及び出来ばえ

#### 【土木工事】

- a) 出来形は、完成した工事目的物の出来形測定の結果が、設計図書の寸法に対し、土木施工管理基準（愛媛県が定める土木工事施工管理基準とする。）、下水道管渠工事施工管理基準を満たしているかを評価する。現場の実地検査による出来形値による確認、工事記録写真や出来形展開図と設計図書との比較などから、「出来形及び品質のばらつきの考え方」（評定別紙5）に留意して評価する。
- b) 品質は、完成した工事目的物の品質管理の結果が、設計図書に記載された要求品質に適合しているか評価する。土木施工管理基準（愛媛県が定める土木工事施工管理基準とする。）もしくは監督員と協議において定められた管理基準を満たしているかを評価する。施工の各段階における品質試験及びその記録の方法等が適切かなどから、「出来形及び品質のばらつきの考え方」（評定別紙5）に留意して評価する。

#### 【建築工事】

- a) 出来形は、完成した工事目的物が設計図書と合致しているか評価する。現場の実地検査による出来形値による確認、工事記録写真や出来形図、竣工図と設計図書の比較などから、評価する。形状寸法の確認、実測値と設計数値との精度、諸々の規格値に対する精度などから出来形を確認する。
- b) 品質は、完成した工事目的物が設計図書に記述された要求品質に適合しているか評価する。現場の実地検査による使用材料の確認や工事記録写真、設計図書における品質基準との対比から品質を評価する。また、品質管理書類との合致、形状寸法、規格、温度管理、試験結果、操作性等に基づいて確認する。
- c) 出来形及び品質を複数の工種で評価する場合は、該当する工種の上位3工種までで、工事比率欄（直工按分したものを）に記入し、該当する工種ごとに評定を行うこと。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事の評価するものとし工事比率は1.0とする。

### ④ 創意工夫

- a) 創意工夫においては軽微なものを対象とし評価するため、施工計画書等にその内容が記載され、又は事前に受注者から自主的に創意工夫にかかる資料が提出されていること。また、「実施状況報告書」等により、実施状況を確認し、効果があると判断できたものを評価する。その他にも工事成績採点基準記載の創意工夫キーワード一覧表を

参考にして、該当キーワード数1項目1点を目安に、7点から0点の範囲で加点評価する。

- b) 創意工夫は、「工事特性」で評価するほどではないが、受注者の工夫やノウハウにより特筆すべき効果が確認できれば加点評価する。評価にあたっては、「工事特性」との二重評価はしない。
- c) 「その他」においては市内業者比率（元請含む）80%以上については加点対象とする。
- d) キーワードの評価・選定及び詳細評価は、工事担当課内での合議を原則とする。

#### ⑤ その他

監督員の考査項目は、検査員の考査項目と類似、若しくは同一のものが多いため、必要に応じて、検査員に対して、監督員の評定結果の説明を行うことができる。また、検査員から聞き取りがあれば応じるものとする。

### (3) - 3 監督員上司の留意事項

留意事項は、以下に示すとおりとし、細部については「考査項目別運用表」による。

#### ① 施工状況

- a) 工程管理は、該当項目を現場への臨場、実施工程表、工事履行状況報告書及び施工体制書類などを基に総合的に判断して評価する。
- b) 安全対策は、該当項目を現場への臨場、工事写真及び安全衛生関係書類などを基に総合的に判断して評価する。

#### ② 工事特性

- a) 該当キーワード数の1項目2点を目安に、その工事内容によって重みを勘案し、20点から0点の範囲で加点評価する。
- b) 工事特性とは、他の類似工事と比較して特異な技術力を要する技術を評価する。評価にあたっては、「創意工夫」との二重評価はしない。
- c) 「その他」の詳細評価の記述にあたっては、工事担当課内での監督職員等による合議を原則とし、評価する工事特性を記述する。

#### ③ 社会性等

地域への貢献等は、該当項目を現場への臨場、工事写真及びその他関係書類などを基に総合的に判断して評価する。評価にあたっては、「創意工夫」との二重評価はしない。

#### ④ 法令遵守等

当該工事を施工したことに起因した処分が評価対象であり、他の工事で処分されたケースは該当しないものとする。ただし、当該工事の検査時点で、処分が確定していない場合は、評価の対象とはせず、後日処分が確定した段階で評定点を修正するものとする。

また、建設工事現場内で労働災害等が発生した場合は、

※1文書注意を行った場合は8点を評定点計から減ずる。

※2口頭注意を行った場合は5点を評定点計から減ずる。

※3その他の場合については、3点を評定点計から減ずる。

※1とは、労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場

合。

※2とは、労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合。

※3とは、労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害（工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故）例）架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等）

### 【社会保険等未加入対策について】

社会保険等未加入業者※と下請契約（2次以下の下請契約含む。）し、完成検査時まで、社会保険等への加入が確認できなかった場合は、2点を評定点計から減ずる。

（平成29年10月1日前に入札公告等を行った工事については、1次下請契約のみを対象とする。）

※社会保険等未加入業者とは、建設業の許可を受けた業者のうち、健康保険、厚生年金保険、雇用保険の加入義務があるのかかわらず、未加入である業者をいう。

#### 留意事項

社会保険等の適用除外を受けている業者を現場から排除することの無いよう配慮する。

適用除外となる場合とは、強制適用事業所にあてはまらない場合とし、強制適用事業所とは、下記となる。ただし、適用除外の事業所であっても任意加入を妨げるものではない。

・健康保険・厚生年金保険については、法人の事業所（営業所）又は個人経営で常時5人以上の労働者を使用する事業所（営業所）

・雇用保険については、労働者（1週間の所定労働時間が20時間以上で、かつ、31日以上引き続いて雇用される見込みのある）を1人でも雇用する事業所（営業所）

※適用事業所に関する問合せ先

・健康保険、厚生年金保険

松山東年金事務所（089-946-2146）、松山西年金事務所（089-925-5105）

・雇用保険

松山公共職業安定所（089-917-8609）

#### ⑤ 総合評価 技術提案等履行確認

総合評価入札方式での入札案件については、入札時における提案内容が確実に履行されているかを監督員及び監督員上司が確認し、履行されていない提案があれば、「工事成績採点表」の8. 総合評価 技術提案等履行確認に「不履行」を選択し、総提案数と提案不履行の数を記入し、提案総数と不履行提案の比率に応じて、3点から最大8点を減点する。

### (3) -4 検査員の留意事項

留意事項は、以下に示すとおりとし、細部については「考査項目別運用表」による。

#### ① 施工状況

検査員の考査項目は、監督員の考査項目と類似、若しくは同一の考査項目が多いので、

評価にあたっては、事前に監督員の評価結果について説明を受けてから行うこと。仮に監督員の評価と相違した場合には必要に応じ監督員等への確認を行うものとする。

## ② 出来形及び出来ばえ

### 【土木工事】

- a) 出来形は、完成した工事目的物の出来形測定の結果が、設計図書の寸法に対し、土木施工管理基準（愛媛県が定める土木工事施工管理基準とする。）、下水道管渠工事施工管理基準を満たしているかを評価する。現場の実地検査による出来形値による確認、工事記録写真や出来形展開図と設計図書との比較などから、「出来形及び品質のばらつきの考え方」（評価別紙5）及び評価対象項目に留意して評価する。
- b) 品質は、完成した工事目的物の品質管理の結果が、設計図書に記載された要求品質に適合しているか評価する。土木施工管理基準（愛媛県が定める土木工事施工管理基準とする。）もしくは監督員と協議において定められた管理基準を満たしているかを評価する。施工の各段階における品質試験及びその記録の方法等が適切かなどから、「出来形及び品質のばらつきの考え方」（評価別紙5）及び評価対象項目に留意して評価する。
- c) 多工種が複合する工事の「品質」「出来ばえ」は、主たる工種の工事比率が70%以上の場合は、1工種で評価する。1工種で工事比率が70%未満の場合は複数工種で評価することとするが、上位2工種とする。2工種で評価が分かれた場合は評価の低い工種の評価を採用することとする。

### 【建築工事】

出来形及び出来ばえを複数の工種で評価する場合は、該当する工種の上位3工種まで、工事比率欄（直工按分したものを）に記入し、該当する工種ごとに評価を行うこと。また、改修工事等で付帯工事を含む場合は、主要工事で評価するものとし工事比率は1.0とする。

## (3) - 5 是正要求等がある場合の留意事項

### ① 改善指示及び是正要求

改善指示又は是正要求を行った場合、監督員及び監督員上司は、その結果を改善指示又は是正要求を行った細目の評価に反映させるものとする。

### ② 評価内容の審査

工事担当課長は、是正要求等を行った工事の成績評価に関する事項について松山市成績評価審査委員会に審査を求めることができる。

審査の依頼は、工事の完成検査依頼より前に、松山市成績評価審査委員会設置要領で定める成績評価審査依頼書（審査様式第1号）により行うものとする。

審査を求めた場合は、成績評価審査委員会の審議を経て工事成績評価通知書（評価様式第3号）により通知する。

#### (4) 工事成績評定結果の通知及び公表等

##### ① 工事成績評定結果の受注者への通知

工事の受注者に対し、技術管理課が工事完成検査終了後、評定結果を郵送にて通知する。中間検査、既済部分検査、指定部分完了検査においては、工事成績評定点の通知は行わない。

##### ② 説明責務

評定結果に疑義のある受注者は、通知を受けた日から起算して10日以内（土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。）に、工事成績（再）説明請求書（評定様式第5号）により、技術管理課長に対して評定の内容について書面による説明を求めることができる。その場合、技術管理課は工事担当課と協議して速やかに工事成績説明回答書（評定様式第6号）にて回答を行う。

##### ③ 説明請求及び評定内容の審査

受注者が説明に不服のある場合は、回答を受けた日から10日以内（土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。）に、工事成績（再）説明請求書（評定様式第5号）により、技術管理課長に対して書面による再説明を求めることができる。

技術管理課長は、内容を審査し、再説明を求められたときは、成績評定審査委員会の審議を経て工事成績再説明回答書（評定様式第7号）により回答する。

##### ④ 評定結果の公表

工事完成検査済証を発行し受注者に通知した評定結果は、松山市工事成績評定点一覧表（評定様第8号）を技術管理課ホームページにおいて四半期毎に翌月末に公表する。

この公表は、評定結果を掲載した日の属する年度及びその翌年度において行うものとする。

(5) 工事成績評価基準

評定点の範囲別評価内容

評定	評定点の範囲	評価内容
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事
B	75～80点未満	品質等に良好な工夫、取り組みが見られる工事
C	70～75点未満	品質等に通常の工夫、取り組みが見られる工事
D	65～70点未満	最低限の品質等が確保されている工事
E	60～65点未満	今後、改善すべき事項がある工事
F	60点未満	今後、特に重大な改善すべき事項がある工事



## (6) 工事成績評定の再交付について

松山市の入札参加希望の際、工事成績の実績や技術者の工事成績を求めていることから、紛失等の理由により、過去5年に完成した松山市発注の工事（公営企業局発注を除く。）に係る工事成績評定通知書の写しの交付を依頼する場合には、工事成績評定通知書等再交付願（評定様式第9号）及び添付資料をもって技術管理課に原則郵送にて請求することができる。

直接申請の場合は、申請者（代理可）の確認のため、身分証明書等の提示を求めるものとする。① 工事成績評定を紛失した場合の成績確認

工事成績評定の再交付を行えるのは、当該工事実績を有する者のみとする。

- ・当該技術者の社員証等、社員であることを証明するものの提示をおこなうこと。
- ・窓口で申請する者が当該技術者本人ではなく、会社の代理人である場合、当該技術者による委任状を添付して提出するものとする。

### ② 合併等が行われた企業の成績確認について

工事成績評定の再交付を行えるのは、当該工事実績を有する者のみとする。確認を行う工事実績を有する者と合併した者、または分社、事業譲渡等により、事業の承継を受けた者が当該工事成績評定の確認を行う場合は、工事成績評定通知書等再交付願に加え、窓口において、合併等の内容を証明する資料の写しも併せて添付すること。

### ③ 技術者の転職等により所属企業が変わった場合の成績確認

施工実績を有する技術者が転職等によって当該実績を有する企業の所属ではなくなっており、当該技術者の工事成績評定を確認したい場合は、工事成績評定通知書等再交付願に加え、窓口において以下の手続きを行うこととする。

- ・当該技術者の実績を確認する工事のCORINSの写しを添付して提出すること。
- ・当該技術者の社員証等、社員であることを証明するものの提示（当該技術者が会社に所属していない場合は、当該技術者本人が窓口で身分証明書を提示）すること。
- ・窓口で申請する者が当該技術者本人ではなく、会社の代理人である場合、当該技術者による委任状を添付して提出すること。

(7) 様式等

① 工事成績評定様式等

- 工事成績採点表（評定様式第1号）
- 細目別評定点採点表（評定様式第2号）
- 工事成績評定通知書（評定様式第3号）
- 項目別評定点（評定様式第4号）
- 工事成績（再）説明請求書（評定様式第5号）
- 工事成績説明回答書（評定様式第6号）
- 工事成績再説明回答書（評定様式第7号）
- 松山市工事成績評定点一覧表（評定様式第8号）
- 工事成績評定通知書等再交付願（評定様式第9号）
- 工事成績採点表の考査項目別運用表（土木工事）（評定別紙1-1・2-1・3-1）
- 工事成績採点表の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）  
（評定別紙1-2・2-2・3-2）
- 施工プロセスチェックリスト（評定別紙4）
- 出来形及び品質のばらつきの考え方（評定別紙5）

# 工事成績採点表 (完成)

平成29年度

- 完成 (完成検査のみ)
- 完成 (指定部分完成検査がある場合)
- 完成 (既済部分(中間)検査がある場合)

松(技管)号

技術管理課		工事担当課	
-------	--	-------	--

年 度		施行番号		完成年月日																							
工 事 名				契約工期	～ まで																						
受 注 者 名				請負代金額																							
考 査 項 目	監 督 員					監 督 員 上 司					検 査 員 (完成)																
	氏名 印					氏名 印					氏名 印																
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																					
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																					
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		+0.0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10																					
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15														
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5								+10	+7.5	+5.0	+2.5	+0.0	-10.0	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II. 品 質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5								+15	+12.0	+7.5	+4.0	+0.0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		+0.0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※1																										
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2																										
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点					点					点															
評定点 (6.5点±加減点合計) ※4		① 点					② 点					③ 点															
評定点計 ※5		点 ○完成検査のみの場合：(①*0.4+②*0.2+④*0.4) = 評定点計 ○指定部分完成検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+((③*(指定部分完成対象金額)+④*(残工事対象金額))/(請負代金額))*0.4 = 評定点計 ○既済部分(中間)検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+③*0.2+④*0.2) = 評定点計 ※但し、③(既済、中間)が2回以上の場合は平均値																									
7. 法令遵守等 ※6		点					点					点															
8. 総合評価 技術提案等履行確認 ※7		対象外					点					点															
9. 評定点合計 ※8		点 ○評定点計-7. 法令遵守等-8. 総合評価技術提案等履行確認																									
所 見 ※9		【監督員】										【監督員上司】										【検査員】					

※1 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、監督員からの報告を受けて監督員上司が評価するものとする。

※2 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

※3 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。

※4 1～3の評定(6.5点±加減点合計) + 4, 5, 6の評定 = 評定点。各評定点(①～④)は四捨五入により少数第1位まで記入する。  
指定部分完成検査、既済部分(中間)検査が併せて実施された工事については、④を指定部分完成検査及び完成検査の請負金額に占める対象金額の加重平均による検査員の評定点を記入する。

※5 評定点計は四捨五入により少数第1位まで記入する。

※6 法令遵守等の評価は、監督員上司が行い、減点評価のみとする。

※7 総合評価技術提案等履行確認は、総合評価計画書の提案が履行確認できない場合は、『不履行』を選択し、総合評価計画書の提案の総数と不履行提案の数を入力する。

※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※9 所見欄は、審査項目の4. 工事特性、5. 創意工夫、6. 社会性等、7. 法令遵守等、8. 総合評価 技術提案等履行確認の加点、減点評価がある場合は記述すること。

# 工 事 成 績 採 点 表 (完成)

平成29年度

- 完成 (完成検査のみ)
- 完成 (指定部分完成検査がある場合)
- 完成 (既済部分(中間)検査がある場合)

松(技管) 号

技術管理課	工事担当課
-------	-------

年 度	施 行 番 号																完 成 年 月 日										
工 事 名																契 約 工 期	～ まで										
受 注 者 名																請 負 代 金 額											
考 査 項 目	監 督 員					監 督 員 上 司					検 査 員 (指定部分)					検 査 員 (完成)											
	氏名 印					氏名 印					氏名 印					氏名 印											
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																					
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																					
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		+0.0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15														
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15														
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5								+10	+7.5	+5.0	+2.5	+0.0	-10.0	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5								+15	+12.0	+7.5	+4.0	+0.0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		+0.0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※1																										
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2																										
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点										
評定点 (6.5点±加減点合計) ※4		① 点					② 点					③ 点					④ 点										
評定点計 ※5		点 ○完成検査のみの場合：(①*0.4+②*0.2+④*0.4) = 評定点計 ○指定部分完成検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+((③*(指定部分完成対象金額)+④*(残工事対象金額))/(請負代金額))*0.4 = 評定点計 ○既済部分(中間)検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+③*0.2+④*0.2) = 評定点計 ※但し、③(既済、中間)が2回以上の場合は平均値																									
7. 法令遵守等 ※6		点					点					点					点										
8. 総合評価 技術提案等履行確認 ※7		対象外					点					点					点										
9. 評定点合計 ※8		点 ○評定点計-7. 法令遵守等-8. 総合評価 技術提案等履行確認																									
所 見 ※9		【監督員】										【監督員上司】										【検査員】					

※1 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、監督員からの報告を受けて監督員上司が評価するものとする。

※2 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

※3 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。

※4 1～3の評定(6.5点±加減点合計) + 4, 5, 6の評定 = 評定点。各評定点(①～④)は四捨五入により少数第1位まで記入する。  
指定部分完成検査、既済部分(中間)検査が併せて実施された工事については、④を指定部分完成検査及び完成検査の請負金額に占める対象金額の加重平均による検査員の評定点を記入する。

※5 評定点計は四捨五入により少数第1位まで記入する。

※6 法令遵守等の評価は、監督員上司が行い、減点評価のみとする。

※7 総合評価技術提案等履行確認は、総合評価計画書の提案が履行確認できない場合は、『不履行』を選択し、総合評価計画書の提案の総数と不履行提案の数を入力する。

※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※9 所見欄は、審査項目の4. 工事特性、5. 創意工夫、6. 社会性等、7. 法令遵守等、8. 総合評価 技術提案等履行確認の加点、減点評価がある場合は記述すること。

# 工 事 成 績 採 点 表 (完成)

平成29年度

- 完成 (完成検査のみ)
- 完成 (指定部分完成検査がある場合)
- 完成 (既済部分(中間)検査がある場合)

松(技管) 号

技術管理課	工事担当課
-------	-------

年 度	施 行 番 号																完 成 年 月 日										
工 事 名																契 約 工 期	~ まで										
受 注 者 名																請 負 代 金 額											
考 査 項 目	監 督 員					監 督 員 上 司					検 査 員 (既済部分,中間)					検 査 員 (完成)											
	氏名		印			氏名		印			氏名			印		氏名		印									
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																					
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																					
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		+0.0	-7.5	-15	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15														
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15														
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5								+10	+7.5	+5.0	+2.5	+0.0	-10.0	-20	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5								+15	+12.0	+7.5	+4.0	+0.0	-12.5	-25	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		+0.0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※1																										
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2																										
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点										
評定点 (6.5点±加減点合計) ※4		① 点					② 点					③ 点					④ 点										
評定点計 ※5		点 ○完成検査のみの場合：(①*0.4+②*0.2+④*0.4) = 評定点計 ○指定部分完成検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+((③*(指定部分完成対象金額)+④*(残工事対象金額))/(請負代金額))*0.4 = 評定点計 ○既済部分(中間)検査がある場合：(①*0.4+②*0.2+③*0.2+④*0.2) = 評定点計 ※但し、③(既済、中間)が2回以上の場合は平均値																									
7. 法令遵守等 ※6		点					点					点					点										
8. 総合評価 技術提案等履行確認 ※7		対象外					点					点					点										
9. 評定点合計 ※8		点 ○評定点計-7. 法令遵守等-8. 総合評価 技術提案等履行確認																									
所 見 ※9		【監督員】										【監督員上司】										【検査員】					

※1 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、監督員からの報告を受けて監督員上司が評価するものとする。

※2 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

※3 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。

※4 1～3の評定(6.5点±加減点合計) + 4, 5, 6の評定 = 評定点。各評定点(①～④)は四捨五入により少数第1位まで記入する。  
 指定部分完成検査、既済部分(中間)検査が併せて実施された工事については、④を指定部分完成検査及び完成検査の請負金額に占める対象金額の加重平均による検査員の評定点を記入する。

※5 評定点計は四捨五入により少数第1位まで記入する。

※6 法令遵守等の評価は、監督員上司が行い、減点評価のみとする。

※7 総合評価技術提案等履行確認は、総合評価計画書の提案が履行確認できない場合は、『不履行』を選択し、総合評価計画書の提案の総数と不履行提案の数を入力する。

※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※9 所見欄は、審査項目の4. 工事特性、5. 創意工夫、6. 社会性等、7. 法令遵守等、8. 総合評価 技術提案等履行確認の加点、減点評価がある場合は記述すること。

## 細目別評定点採点表

項目	細別	松(技管)				細目別評定点	得点割合
		監督員	監督員上司	検査員(完成)	号		
1. 施工体制	. 施工体制一般	( ) × 0.4 + 2.9 点				3.3点	
	. 配置技術者	( ) × 0.4 + 2.9 点				4.1点	
2. 施工状況	. 施工管理	( ) × 0.4 + 2.9 点			( ) × 0.4 + 6.5 点	13.0点	
	. 工程管理	( ) × 0.4 + 2.9 点	( ) × 0.2 + 3.2 点			8.1点	
	. 安全対策	( ) × 0.4 + 2.9 点	( ) × 0.2 + 3.3 点			8.8点	
	. 対外関係	( ) × 0.4 + 2.9 点				3.7点	
3. 出来形 及び 出来ばえ	. 出来形	( ) × 0.4 + 2.8 点			( ) × 0.4 + 6.5 点	14.9点	
	. 品質	( ) × 0.4 + 2.9 点			( ) × 0.4 + 6.5 点	17.4点	
	. 出来ばえ				( ) × 0.4 + 6.5 点	8.5点	
4. 工事特性	. 施工条件等への対応		( ) × 0.2 + 3.3 点			7.3点	
5. 創意工夫	. 創意工夫	( ) × 0.4 + 2.9 点				5.7点	
6. 社会性等	. 地域への貢献等		( ) × 0.2 + 3.2 点			5.2点	
7. 法令遵守等			( ) × -1.0 点			5.2点	
8. 総合評価	技術提案等履行確認		( ) × -1.0 点			5.2点	
評定点合計						100点	

- 1 指定部分完成、既済部分(中間)検査があった場合 ( + + + ) = 細目別評定点  
指定部分完成、既済部分(中間)検査がなかった場合 ( . + + ) = 細目別評定点
- 2 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。
- 3 法令遵守等の評価は、完成検査時に一括入力する。

松(技管)第 号  
平成 年 月 日

受注者

様

松山市長

(技術管理課扱い)

### 工事成績評定通知書

貴社が受注した工事について、松山市工事成績評定要領に基づき評定した結果を下記のとおり通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、松山市工事成績評定要領第9条の規定に基づき、この書面の通知を受けた日から起算して10日(土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く)以内に、工事成績(再)説明請求書(評定様式第5号)により、技術管理課長に対して評定の内容について説明を求めることができます。

#### 記

施行番号		評定点合計	点
件名			
履行場所			
請負代金額	円		
工期	平成 年 月 日	～	平成 年 月 日
完成検査年月日	平成 年 月 日		

#### 評定点の範囲別評価内容

判定	評定点の範囲	評価内容
A	80点以上	他の模範となる優秀な工事
B	75～80点未満	品質等に良好な工夫、取り組みが見られる工事
C	70～75点未満	品質等に通常の工夫、取り組みが見られる工事
D	65～70点未満	最低限の品質等が確保されている工事
E	60～65点未満	今後、改善すべき事項がある工事
F	60点未満	今後、特に重大な改善すべき事項がある工事

(手続き等の問い合わせ先及び送付先)

松山市役所 総務部 技術管理課

TEL 089-948-6493

〒790-8571 松山市二番町4丁目7-2

項目別評定点

評価項目	細別	評定点 / 満点
1. 施工体制	. 施工体制一般	点 / 3.3 点
	. 配置技術者	点 / 4.1 点
2. 施工状況	. 施工管理	点 / 13.0 点
	. 工程管理	点 / 8.1 点
	. 安全対策	点 / 8.8 点
	. 対外関係	点 / 3.7 点
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来形	点 / 14.9 点
	. 品質	点 / 17.4 点
	. 出来ばえ	点 / 8.5 点
4. 工事特性(加点のみ)	. 施工条件等への対応	点 / 7.3 点
5. 創意工夫(加点のみ)	. 創意工夫	点 / 5.7 点
6. 社会性等(加点のみ)	. 地域への貢献等	点 / 5.2 点
7. 法令遵守等(減点のみ)		点
8. 総合評価 技術提案等 履行確認(減点のみ)		点
<b>評定点合計</b>		点 / 100 点

「項目別評定点」及び別紙「工事成績評定通知書」は、情報公開の対象となりますので承知願います。



## 工 事 成 績 (再) 説 明 請 求 書

平成 年 月 日

(あて先) 松山市長

受 注 者

住所

氏名

印

平成 年 月 日付け松(技管)第 号で通知のあった下記の工事成績評定通知書について、松山市工事成績評定要領の規定に基づき、通知された事項の内容説明を請求します。

記

1. 施行番号
2. 件 名
3. 履行場所
4. 請負代金額 円
5. 説明請求の内容
  
6. 根拠となる理由

注) 当初請求の場合は、(再)を横線で消してください。

## 工事成績説明回答書

松(技管)第 号  
平成 年 月 日

受注者

様

松山市長

(技術管理課扱い)

平成 年 月 日付け貴社より説明請求があった工事成績評定通知書について、松山市工事成績評定要領の規定に基づき、下記のとおり回答します。

### 記

1. 施行番号

2. 件名

3. 履行場所

4. 回答要旨

5. 再説明請求

本回答書の内容に異議がある場合は、本回答を受けた日から起算して14日以内に工事成績再説明請求書により、再説明を求めることができます。

6. 手続き等の問い合わせ先及び送付先

〒790-8571

松山市二番町4丁目7番地2

松山市役所 総務部 技術管理課

TEL 089-948-6493

## 工 事 成 績 再 説 明 回 答 書

松（技管）第 号  
平成 年 月 日

受注者

様

松山市長

（技術管理課扱い）

平成 年 月 日付け貴社より再説明請求があった工事成績評定通知書について、松山市成績評定審査委員会による審議を経たうえ、下記のとおり回答します。

### 記

- 1．施行番号
- 2．件 名
- 3．履行場所
- 4．回答要旨



### 工事成績評定通知書等再交付願

平成 年 月 日

(提出先)松山市長

申請者

住所(所在地)

氏名(名称及び代表者の氏名)

印

連絡先(電話番号等)

下記工事の「工事成績評定通知書及び項目別評定点」の写しの交付を申請します。

受注者名	
件名	
履行場所	
工事期間	自 平成 年 月 日 至 平成 年 月 日
再交付願書類	工事成績評定通知書(写し) 項目別評定点(写し)
添付書類	委任状 合併等内容を証明する資料 CORINSの写し
必要な理由	
郵送の希望	有 無
備考	

注) 直接申請の場合、申請者(代理可)の確認のため身分証明等の提示を求めます。

技術管理課長	主幹		受付者	
受付 平成 年 月 日				

写しの交付について、次のように決定してよろしいか。

1. 可	再交付願の書類 □工事成績評定通知書(写し) 項目別評定点(写し)
2. 否	松(技管)第 号 平成 年 月 日

### 工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が特に良好である	施工体制が良好である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工事カルテを、事前に監督員の確認を受け、契約締結後10日以内に登録機関に申請が完了している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人及び主任(監理)技術者届、当初契約工程表が契約締結後14日以内に提出されている。 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者が工事途中及び立会検査等の事前に現場の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 <input type="checkbox"/> 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 労災保険関係成立表を公衆の見やすい場所に掲示している。 <input type="checkbox"/> 建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、主任(監理)技術者を正しく記載している。 <input type="checkbox"/> 下請負契約書(写)又は請書(写)及び再下請通知書を添付している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳を現場に備え付け、かつ適宜変更の都度同一のものを提出している。 <input type="checkbox"/> 下請負契約書又は請書(写)及び再下請通知書を添付している。 <input type="checkbox"/> 施工体系図の内容が適正であり、かつ工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 <input type="checkbox"/> 施工体系図に記載のない業者が作業していない。 <input type="checkbox"/> 受注者が、その下請工事の施工に実質的に関与している。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。                 </div>			

### 工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 現場代理人は、現場に常駐している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員への連絡調整、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 監理技術者(主任技術者)が現場に専任している。 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、施工計画や工事に係わる工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっている。 <input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫又は、提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制、施工状況を把握し、下請負業者、部下等をよく指導している。 <input checked="" type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	$\frac{\text{ } \quad \text{ }}{\text{ } \quad \text{ }} = \text{ } \quad \%$ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。                 </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が特に良好である	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場に相違がある場合、その事実が確認できる資料を提示して確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、設計図書及び現場条件を反映した内容の施工計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料が事前に監督員に承諾され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など、施工に関する工夫を書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工途中の出来形、品質管理が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> 監督員の立会にあたって予め連絡をしている。 <input type="checkbox"/> 段階確認の確認時期が、適切である。 <input type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物が産業廃棄物管理票(マニユフェスト)により適正に処理されている。 <input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書及び、産業廃棄物処理計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 <input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	$\frac{\text{a}}{\text{b}} = \text{c} \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数 ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。	



### 工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 実施工程表が提出され、工程の管理を行っており、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工期及び、内容変更が伴う場合、変更協議が書面にて行われ、契約後14日以内に変更工程表が提出されている。 <input type="checkbox"/> 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び入居者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 <input type="checkbox"/> 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> 受注者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c			$\frac{\text{ } }{\text{ }} = \text{ } \%$		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。                 </div>					

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工の設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目80%未満 ..... c</p>	<p>_____ / _____ = _____ %</p>	<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。                  ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                  ③ 評価値( )%=( )評価数/( )対象評価項目数                  ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>		

### 工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が優れている	対外関係が良好である	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備である	対外関係が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整をしている。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、近隣住民(入居者等)との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適切に行い、その内容の報告がある。 <input type="checkbox"/> 隣接工事又は、施工上密接に関連する工事と相互に協力を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 <input type="checkbox"/> 現場のイメージアップに取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 引渡し時に入居者等に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値(    %) = (    )評価数 / (    )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。                 </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

(監督員)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
	<input type="checkbox"/>	<p>ばらつき判断は評定別紙5 参照。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。                      出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。                      出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。                      出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。                      主たる工種の管理測点が10点以下の工事でばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。</p> </div>				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

(監督員)

考査項目	細 別	工 種	a	h	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形	機械設備工事  上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。  当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
			[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

(監督員)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	出来形  <input type="checkbox"/>	電気設備工事  上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____)</p>			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
<p>判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>						<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」と評価とする。</p>	
			<p>_____ / _____ = _____ %</p>				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

監督員

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。	
		<p>ばらつきの判断は評定別紙5参照。</p> <p>品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。                      品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。                      品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。                      品質管理項目を設定していない工事及び主たる工種の品質管理に係る試験結果の打点数等が10点以下の工事はばらつき評価が適当ではない場合として、以下の項目を用いて評定を行うものとする。</p>					
	品質	ばらつき評価が適当ではない場合					
		a	b	c			
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない			
		<input type="checkbox"/> 工事内容、規模に適した品質管理項目及び頻度が施工計画に的確に示されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理基準のない項目について、事前に監督員と協議し、管理基準を設定している。 <input type="checkbox"/> 品質試験は、項目・頻度ともに必要数実施されており、結果が整理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書など)が整理されている。 <input type="checkbox"/> 工事写真により、品質確認状況、試験・検査状況等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件、気象条件を考慮して施工している。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に工夫がみられる。 <input type="checkbox"/> その他( )					
		判断基準 <input type="checkbox"/>					
		該当7項目以上……………a 該当4項目以上7項目未満……………b 該当4項目未満……………c					

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

監督員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	品質	機械設備工事 上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	<p>〔評価対象項目〕</p> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の内容が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性にすぐれている。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 <input type="checkbox"/> パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
			<p>判断基準                      評価値が90%以上.....a                      評価値が80%以上90%未満.....b                      評価値が80%未満.....c</p>			<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                      削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                      評価値( )% = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                      なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

監督員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	品質	電気設備工事  上記欄によらず、当該欄で評価する場合はチェックを入れる	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
			判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c			$\frac{\text{ } / \text{ } = \text{ } \%}{}$ 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 評価値( %) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )	

## 工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細目	1. 創意工夫キーワード(創意工夫が多く見られるリスト)	その他(項目記載)
5. 創意工夫 [軽微なもの]	キーワード評価	準備・後片付け関係 <input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2. その他:( )	( ) ( )
		施工関係 <input type="checkbox"/> 3. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 <input type="checkbox"/> 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 <input type="checkbox"/> 5. 土工、地盤改良、橋梁架設、塗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 6. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 7. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 8. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 9. 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 10. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 11. 運搬車両、施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 12. 支保工、型枠工、足場工及び仮橋樑、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 13. 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 14. その他:( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
		品質関係 <input type="checkbox"/> 15. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 <input type="checkbox"/> 16. コンクリートの打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来形、品質等) <input type="checkbox"/> 17. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 <input type="checkbox"/> 18. 配筋・溶接作業等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 19. その他:( )	( ) ( ) ( ) ( )
		安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 20. 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 21. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 22. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 23. 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等々の工夫 <input type="checkbox"/> 24. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 25. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> 26. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 27. 地下埋設物及び架空線に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 28. その他:( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
		施工管理関係 <input type="checkbox"/> 29. 盛土の締固、場所打ち杭や既製杭の施工高さ等の施工に係る工夫 <input type="checkbox"/> 30. 施工計画書及び写真管理等の工夫 <input type="checkbox"/> 31. 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> 32. その他:( )	( ) ( ) ( )
		その他 <input type="checkbox"/> 33. その他:(市内業者比率80%以上) +3点 ) <input type="checkbox"/> 34. その他:( ) ) <input type="checkbox"/> 35. その他:( ) )	( ) ( ) ( )
		記述評価 [レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述]	評点 <span style="background-color: yellow;">      </span> 点 ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+7点~0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。

1. 創意工夫においては、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点評価する。  
 2. 「2. 施工状況」、「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。  
 3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。  
 4. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、検査員及び監督員上司との合議をもって記述する。  
 5. 市内業者比率(%) = 松山市内業者請負金額計(元請業者含む、松山支店・営業所等は除く) / 総請負金額 × 100  
 6. 総合評価における技術提案に関する創意工夫については評価しない。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する又は同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 工事管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 工事管理が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目なし …… c		
	III. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが顕著である。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 安全管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 安全対策が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目数なし …… c		

### 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の事項に該当しない場合
		<input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				
		該当項目数6以上 …………… a 該当項目数5以上6未満 …… a' 該当項目数3以上5未満 …… b 該当項目数1以上3未満 …… b' 該当項目なし …………… c				

地域への貢献とは、工事施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

## 工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表																										
7. 法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措 置 内 容</th> <th style="width: 20%;">点 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし</td> <td style="text-align: center;">-0点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td>8. 現場内で、労働災害が発生した場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例</td> <td style="text-align: center;">- □□点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。(他工事現場での違反は評価しない。)          ※完成検査当日までの処分内容で評価する。(完成検査日以降に処分が出たものは評価しない。)</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: large;">点</p> <p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。          ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。          ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。          ④ 社会保険等未加入業者と下請契約(2次以降の下請契約含む。)、完成検査日までに、社会保険等への加入が確認できなかった場合は、「9. その他の適応事例」の項目で2点を減じる措置を行う。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】 ※適応事例にレ点をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 労働者の宿舍環境等について労働安全基準法上違反があり、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または告訴された。</li> <li><input type="checkbox"/> 6. 建設業法に違反する事実が判明した EX)一括下請け、技術者の専任違反等</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。</li> <li><input type="checkbox"/> 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。</li> <li><input type="checkbox"/> 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 14. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起した。</li> <li><input type="checkbox"/> 15. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。</li> <li><input type="checkbox"/> 16. 低入札調査で虚偽の報告があった。</li> <li><input type="checkbox"/> 17. 重大又は悪質な不備があった場合において、松山市建設工事・委託業務監督実施要領に定める是正要求が行われた。(文書注意)</li> <li><input type="checkbox"/> 18. その他(理由: )</li> </ul>	措 置 内 容	点 数	<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点	8. 現場内で、労働災害が発生した場合		<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点	<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点	<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点	<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □□点
措 置 内 容	点 数																										
<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点																										
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点																										
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																										
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																										
<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																										
<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点																										
8. 現場内で、労働災害が発生した場合																											
<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点																										
<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点																										
<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点																										
<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □□点																										

工事成績採点の審査項目別運用表（土木工事）

監督員上司

評定別紙 2 -

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	. 施工条件への対応 キーワード評価 土木、建築工事 共通	<b>施工規模の大きさへの対応</b> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2. その他（ <b>該当があればチェックして理由を記入。</b> ） 理由：  <b>構造物固有の難しさへの対応</b> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む） 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 5. その他 理由：  <b>技術固有の難しさへの対応</b> 6. 工種及び工法の特異性 7. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 8. N E T I S の評価試行方式を適用 9. その他 理由：  <b>厳しい自然・地盤条件への対応</b> 10. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時） 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況 12. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 14. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 15. その他 理由：  <b>厳しい周辺環境等、社会条件への対応</b> 16. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 17. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 18. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 19. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 20. 生活道路を利用する際の資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約 21. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 22. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 23. その他 理由：  <b>施工現場での対応</b> <input type="checkbox"/> 24. 災害等での臨機処置（ <b>該当があればチェック。</b> ） 25. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 26. その他 理由：  その他 27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項 理由： 28. その他（加点が1点の場合） 理由：	<b>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合（<b>該当項目をチェック</b>）</b> <input type="checkbox"/> 切土・盛土工 2.0万m <sup>3</sup> 以上 <input type="checkbox"/> グム用水門 設計水深25m以上 <input type="checkbox"/> 堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m <sup>2</sup> 門 <input type="checkbox"/> トンネル(NATM) 内空断面積 100m <sup>2</sup> 以上 <input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物、研究所等特殊設備 <input type="checkbox"/> 波深工 100万m <sup>3</sup> 以上 <input type="checkbox"/> グム高 150m以上 <input type="checkbox"/> 橋梁上部工 最大支間長 100m以上 <input type="checkbox"/> 護岸・築堤高 10m以上 <input type="checkbox"/> 樋門・樋管 内空間断面積15m <sup>2</sup> 以上 <input type="checkbox"/> トンネル(沈埋工法) 内空間平均面積300m <sup>2</sup> 以上 <input type="checkbox"/> トンネル(開削工法) 開削深さ20m以上 <input type="checkbox"/> 地滑り防止工 幅100m以上 又は法長150m以上 <input type="checkbox"/> 砂防ダム 堤高15m以上 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工 高さ 30m以上 <input type="checkbox"/> 延べ面積10,000m <sup>2</sup> 以上の建物 <input type="checkbox"/> 径8m以上 <input type="checkbox"/> 吐出管径2,000mm以上 <input type="checkbox"/> トンネル(開削工法) 開削深さ20m以上 <input type="checkbox"/> 地滑り防止工 幅100m以上 又は法長150m以上 <input type="checkbox"/> 砂防ダム 堤高15m以上 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工 高さ 30m以上 <input type="checkbox"/> 地上9階以上の建物、又は建築高さ31m以上の建物  <b>【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例</b> <b>【事例】構造物固有な施工難度と対応工法等】（<b>該当項目をチェック</b>）</b> <input type="checkbox"/> 地山強度が悪い、また土被りが薄いため、F E M解析等の施工のための検討が必要工事。 <input type="checkbox"/> 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の施設の改修工事等。 <input type="checkbox"/> 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において Ⅰ類及びⅡ類に属する工事 <input type="checkbox"/> 電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてⅠ類に属する工事 <input type="checkbox"/> 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてⅠ類に属する工事 <input type="checkbox"/> 建築工事で耐震及び免震構造の工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事 <input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事 <input type="checkbox"/> 施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。 <input type="checkbox"/> パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。 <input type="checkbox"/> その他、コンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等 <input type="checkbox"/> V E 提案された工法等が高度技術として評価できる場合。 <input type="checkbox"/> N E T I S の評価試行方式を適用した工事。 <input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 （左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 （左欄のその他に理由を記入。）  <b>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】（<b>該当項目をチェック</b>）</b> <input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 <input type="checkbox"/> 軟弱地盤上の連続盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。 <input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業橋台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。（法面上は除く） <input type="checkbox"/> 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。 <input type="checkbox"/> 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 <input type="checkbox"/> 波浪や水位変動が大きいため、作業橋台等を設置した工事。また、作業橋台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。 <input type="checkbox"/> 国立公園内の工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。 <input type="checkbox"/> 冬期施工のため、大規模な雪害冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で冬期施工のため、大規模な雪害冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。 （左欄のその他に理由を記入。）  <b>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】（<b>該当項目をチェック</b>）</b> <input type="checkbox"/> 複線函渠工事や電線地中化工事等の現道閉削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。 <input type="checkbox"/> 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。 <input type="checkbox"/> 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 <input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 <input type="checkbox"/> 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。 <input type="checkbox"/> 供用している自車道等の路上工事で交通規制が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。 <input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。 <input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が多い工事。 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。 <input type="checkbox"/> 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 <input type="checkbox"/> 施工トド が狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。 <input type="checkbox"/> 大気圧を越える気圧下の作業室での工事。 <input type="checkbox"/> 喫火、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。 <input type="checkbox"/> 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。 <input type="checkbox"/> 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事 <input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> 建築工事で特に困難な調整を要する他工事（近接工事）の請負人が複数ある工事（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> 建築工事で外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事（左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。（左欄のその他に理由を記入。）  <b>【その他】（<b>該当項目をチェック</b>）</b> <input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。 （左欄のその他に理由を記入。） <input type="checkbox"/> その他（加点が1点の場合）
	記述評価 【 マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点： 点 ・ 工事特性により、加点評価する ・ 加点は+2.0点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワードの数の数と重みを勘案して評点する。 ・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。	<b>【施工条件のキーワードの詳細】</b>

1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 2. 詳細評価の記述にあたっては、担当課内での責任者による合議とし、各審査項目はキーワードで分類し、評価する詳細を記述する。  
 3. 工事特性は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

		a	b	c	d	e
		施工管理が優れている	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
2. 施工状況	1. 施工管理	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号～第5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなつて <input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済の証紙が適切に購入・配布され標識が工事現場の見やすい場所に掲示されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整理に工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p> <p>_____ / _____ = _____ %</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____)						
		出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 出来形とは、設計図書に示された工事事務物の形状及び寸法をいう。 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 主たる工種の管理測点が10点以下の工事ではばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。						
		ばらつきの判断は評定別紙5参照。						



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	出来形 <input type="checkbox"/>	機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)						<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		上記欄によらず、当該欄で評価								

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	出来形 <input type="checkbox"/>	電気設備 工事  上記欄 によらず、 当該欄で 評価	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)</p> <p>判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a</p> <p>評価値が80%以上90%未満..... a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満..... b</p> <p>評価値が60%以上70%未満..... b'</p> <p>評価値が60%未満..... c</p>			<p>_____ / _____ = _____ %</p>		<p>当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                  削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )                  なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
9.0%以上	a	a'	b	b
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c
6.0%未満	b'	c	c	c

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造 物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきでの判断は評定別紙5参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね5.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能							
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )							
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %							

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	土木工事 (切土、盛土、築堤工事等)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「評価」とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	90%以上	50%以下	80%以下	80%を超える
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	護岸・根固・水制工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘箇所への湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )						
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$						

工事成績採点の考查項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。
削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
評価値(%)=該当項目数( ) / 評価対象項目数( )
なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準 table with columns for evaluation ranges (90%以上, 75%以上90%未満, etc.) and judgment categories (ばらつきで判断可能, ばらつきで判断不可能).

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

Main evaluation table with columns for evaluation items (e.g., 品質), work types (鋼橋工事), and criteria (a, a', b, b', c, d, e) with checkboxes for compliance.

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目] (共通) <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。								
(砂防構造物工事に適用) <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。								
(地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)に適用) <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。								

判断基準

評価値	9.0%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
	a	a'	b	b	
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'	
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c	
6.0%未満	b'	c	c	c	

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

	<p>(排水ボーリング工関係)</p> <p><input type="checkbox"/> 横穴排水ボーリング工が設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 横穴排水ボーリング工の施工にあたり、方向及び角度に配慮して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理記録に工夫があり、よく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適正で良好に施工されていることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>	
--	--	--



工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目] (路床・路盤工関係) <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 (アスファルト舗装工関係) <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 (コンクリート舗装工関係) <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 曲げ強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバーをさび、損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 (その他) <input type="checkbox"/> その他(理由: <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 15px;"></span> / <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 15px;"></span> = <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 15px;"></span> %)								

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目] (共通)  <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。  )  (種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係) <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。  )  (コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。  )								

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「c」評価とする。

評価値	9.0%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
	a	a'	b	b	
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'	
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c	
6.0%未満	b'	c	c	c	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

	<p>(現場打法枠工関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</li> </ul> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input style="border: 2px solid black;" type="text"/> %             </p>		
--	---	--	--

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	基礎工工事 (地盤改良等を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目] (杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)) <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。  (地盤改良関係) <input type="checkbox"/> 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。  (その他) <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )								

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )  <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「評価」とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「c」評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </div>								

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	9.0%以上	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	
7.5%以上9.0%未満	a	a'	b	b'
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c
6.0%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね5.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )						
		$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$						



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	9.0%以上	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	
7.5%以上9.0%未満	a	a'	b	b'
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c
6.0%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね5.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱等の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、1.0%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )		_____ / _____ = _____ %						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  品質	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： 判断基準 該当項目が6項目以上…… a 該当項目が5項目 …… a' 該当項目が4項目 …… b 該当項目が3項目 …… b' 該当項目が2項目以下…… c						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
								注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする	
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： (例) 材料の加工・組立が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 理由： (例) 既設構造物の削孔およびチップングについて、事前の調査及び施工が適切で設計図書に適合しており確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： (例) コンクリート、モルタル、樹脂、塗料等の施工が、設計図書に適合し施工状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 理由： (例) アンカーボルトの挿入及びボルトの締め付けが確実に施工され、引抜等の試験記録が保存され、長さが確認できる。 判断基準 該当項目が6項目以上…… a 該当項目が5項目 …… a' 該当項目が4項目 …… b 該当項目が3項目 …… b' 該当項目が2項目以下…… c						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
							注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする		

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	電線共同溝工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )						
		_____ / _____ = _____ %						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「c」評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
品質		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</li> <li><input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</li> </ul> <p>判断基準</p> <p>評価値が90%以上..... a                  評価値が80%以上90%未満..... a'                  評価値が70%以上80%未満..... b                  評価値が60%以上70%未満..... b'                  評価値が60%未満..... c</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                 </p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「c」評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
品質		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 製作着事前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が60%未満..... c					$\frac{\text{ } \text{ } }{\text{ } \text{ } } = \text{ } \text{ } \%$	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	港湾築造工事 (浚渫工事・海岸築造工事を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきでの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目] (共通) <input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 (浚渫・床掘関係) <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。 <input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。 <input type="checkbox"/> 土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む) <input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。								

判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
9.0%以上	a	a'	b	b
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c
6.0%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

	<p>(地盤改良関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> サンドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びびロッドコンパクションが連続したような形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ベ-バ-ドレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したベ-バ-ドレーンの頭部が保護され排水効果が維持されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 盛り上がり土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</li> </ul> <p>(マット、捨石及び均し関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。</li> </ul> <p>(本体:杭及び矢板、控工関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</li> </ul>		
--	---	--	--

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「評価」とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

	<p>(本体:ケーソン据付、ブロック据付関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートブロック据付等に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。</li> </ul> <p>(コンクリート関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。</li> </ul> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %         </p>	
--	---	--



工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
9.0%以上	a	a'	b	b
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c
6.0%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ  品質	水路等コンクリート二次製品設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね5.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね8.0%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 護岸等の根入れが図面通り実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊り込み、裾付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )							
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %							



判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	管路工事 (パイプライン)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能  [評価対象項目]  <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊、過堀が無く、施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 管及び付属品(制水弁、空気弁等)の接合が適正である。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 中心線の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 仕様書等で示す条件により、締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に施工され、周辺との段差がない。 <input type="checkbox"/> その他(理由:  <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「評価」とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	林道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能								
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 種子吹付等に使用する材料の種類、品質及び配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 切土法面が設計図書で定められた勾配でなじみよく仕上がっている。 <input type="checkbox"/> フトン簞、カゴ枠等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で詰石等、裏込材の流亡のおそれがない。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の施工に当たっては、その基礎に埋戻し土または盛土内の浸透水が流入しないよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の壁材の組立が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 補強土壁工の補強部材が所定位置に取り付けられ、極端な凸凹が生じないように埋設されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )					$\frac{\quad}{\quad} = \quad \%$	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁設置工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬、打設、締め固め、養生を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の型枠の取り外しに関して適切に管理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> コンクリート単体魚礁の仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースの材質が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スパースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> 捨石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼製魚礁の溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている <input type="checkbox"/> 組立魚礁の組立が手順書等に沿って適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 組立魚礁のボルトの締付確認が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 沈設に先立ち、気象・海象等を十分調査し、沈設作業が適切に管理されており、設計図書等に定められたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 運搬沈設において魚礁の破損がなく施工されている。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> その他(理由:						
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	ため池工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
品質	0	<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 基礎処理の施工は、仕様書に従い適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートの重ね幅が確保され、適切に接続されている。 <input type="checkbox"/> 築堤については、仕様書に従い適切に施工されている。(まき出し、転圧) <input type="checkbox"/> 盛土材が適切に保管管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 湧水処理は適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 雨水による、崩壊が起こらないよう排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立、継手部、かぶり工事に記されたとおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 周辺地山の法面工は設計図書に基づき適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固め等の処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 付帯構造物は設計図書に基づき適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> その他(理由: _____ ) <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	シールド工事 (一次覆工) (二次覆工)  0	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> セグメントが仕様書・製作要領書に基づいて製作されている。 <input type="checkbox"/> セグメントに損傷及び補修痕がない。 <input type="checkbox"/> セグメント組立時に目違い、異物の挟み込み等に注意し丁寧に組立を行い、所定のトルクでボルトが締め付けられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> セグメント組立後、真円保持装置を使用し形状確保に努めている。 <input type="checkbox"/> セグメント継手面シール等の防水工が、仕様書に基づき適切に施工され漏水がない。 <input type="checkbox"/> 施工後のコンクリート系セグメントにクラックの発生及び欠けがない。 <input type="checkbox"/> スチールフォーム等の取り外しに関して管理されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの現場養生が、仕様書の規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 二次覆工コンクリートにクラックの発生がない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )  <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質	下水道工事(開削)(推進)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつき判断は評定別紙5参照。 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目](共通)		<input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 塩ビ管材料は、直射日光を避けて、変形が起きないよう管台を適正に配置して保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ヒューム管および推進管の種別、継ぎ手または可とう性継ぎ手、副管等、使用材料の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 管やマンホールの砂基礎、砕石基礎、コンクリート基礎の施工が適切で沈下の恐れが無い。 <input type="checkbox"/> 管の吊り込み、据付けが適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホール間の勾配が一定である(中だるみが無い)。 <input type="checkbox"/> 圧送管の継ぎ手部のボルト締めを適正に行っている。(圧送管がある場合) <input type="checkbox"/> 管継ぎ手部、マンホール連結部の仕上げが良好である。 <input type="checkbox"/> マンホールブロックの接合部は、砂利・砂・ゴミ等を取り除き水密に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> マンホールのインパート形状、勾配が適当で、表面仕上げが適切である。 <input type="checkbox"/> 取付管の線形、勾配が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルトの密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ブラント出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 付帯工作物の復旧が適切に行われている。						



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて「評価」とする。

評価値	9.0%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
	a	a'	b	b	
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'	
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c	
6.0%未満	b'	c	c	c	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

	<p>(開削工事関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土留め工の施工が適切で、周辺地盤への影響が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻しにおいて、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 埋め戻し材料について、良質な土砂又は設計図書で指定されたもので監督員の承諾を得たものを使用していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 床堀箇所への湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に行われ、路面の不陸がみられない。</li> </ul> <p>(推進工事関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 管推進に伴う周辺地盤への影響が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 立坑の復旧が適切に行われ、路面の沈下、不陸が見られない。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬液注入に伴う管理が適切で、観測井も適切に復旧されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 裏込め注入の配合、注入圧、注入量などの管理が適切に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進法線上の地盤沈下について、沈下量の管理を行い、最小限の沈下にとどめていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 推進推力について、管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 管の目地には、予定以上の開きの無いことが確認できる。</li> </ul>		
--	--	--	--

判断基準

評価値	9.0%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		5.0%以下	8.0%以下	8.0%を超える	
	a	a'	b	b	
	a'	b	b'	b'	
	b	b'	c	c	
	b'	c	c	c	

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

	<p>(現場打ち人孔工事関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、強度、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</li> </ul> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由: _____ )</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px;"></span> / <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px;"></span> = <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px;"></span> %             </div>	
--	--	--

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

評価値	判断基準			
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	管更生工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
品質		<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能						
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 事前調査において、既設管内の布設状況、取付管位置、障害物及び浸入水等の状況を十分に把握し施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 事前処理により、更生時に支障のないよう適切な措置を施している。 <input type="checkbox"/> 更生工(硬化性樹脂)の、配合・気温・硬化材温度・硬化温度・形成圧力・保持時間等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 更生工(製管材)裏込め工の、配合・気温・水温・ゲルタイム・注入吐出量・注入圧力等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 仕上がり管内面には膨れ、皺、扁平、破損等がなく基準を満たしている。 <input type="checkbox"/> 人孔管口を適切に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 取付管口を適切に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 形成管の物性試験の結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )						
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %						

判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ  品質	上水道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。  <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
[評価対象項目]		<input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 管、弁、栓、籠、ボックス等の据付及び接合は、契約図書又は施工基準に適合し施工されている。 <input type="checkbox"/> 腐食防止処理等が規定どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> 通水試験及び締め付け確認等の各種試験が適正に行われていることが確認でき、記録も適合範囲である。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材の種類、締め使用機種及び厚さ等、仕様書及び設計図書に適合し施工されている。 <input type="checkbox"/> 舗装復旧が適切に行われ、沈下や不陸がない。 <input type="checkbox"/> 土留め工が適切に行われ、周辺地盤への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> その他(理由: )						
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %						

判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。  
 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。  
 評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( )  
 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は工種に「レ」を入れて評価とする。

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表(土木工事)

検査員

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ばらつきの判断は評定別紙5参照。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
品質	0	<input type="checkbox"/> ばらつきが概ね50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが概ね80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %                     </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い, <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い, <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い, <input type="checkbox"/> クラックがない, <input type="checkbox"/> 漏水がない, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		土工事 (盛土・築堤工事等) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い, <input type="checkbox"/> 通りが良い, <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い, <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		切土工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている, <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている, <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている, <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている, <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		護岸・根固・水制工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い, <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い, <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い, <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		鋼橋工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない, <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い, <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある, <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 4 項目以上 .....a 該当 3 項目 .....b 該当 2 項目 .....c 該当 1 項目以下 .....d	
		地すべり防止工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い, <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い, <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 3 項目以上 .....a 該当 2 項目 .....b 該当 1 項目 .....c 該当項目なし .....d	
		舗装工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い, <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い, <input type="checkbox"/> 端部処理が良い, <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い, <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 5 項目以上 .....a 該当 4 項目 .....b 該当 3 項目 .....c 該当 2 項目以下 .....d	
		法面工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い, <input type="checkbox"/> 植生、吹付等の状態が均一である, <input type="checkbox"/> 端部処理が良い, <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い,		該当 3 項目以上 .....a 該当 2 項目 .....b 該当 1 項目 .....c 該当項目なし .....d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来ばえ	基礎工事 (地盤改良等を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		該当 3 項目以上 …… a 該当 2 項目 …… b 該当 1 項目 …… c 該当項目なし …… d	
		コンクリート橋上部工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 …… a 該当 4 項目 …… b 該当 3 項目 …… c 該当 2 項目以下 …… d	
		塗装工事 (工場塗装を除く) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 …… a 該当 3 項目 …… b 該当 2 項目 …… c 該当 1 項目以下 …… d	
		植栽工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 …… a 該当 2 項目 …… b 該当 1 項目 …… c 該当項目なし …… d	
		防護柵(網)工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 …… a 該当 4 項目 …… b 該当 3 項目 …… c 該当 2 項目以下 …… d	
		標識工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 …… a 該当 3 項目 …… b 該当 2 項目 …… c 該当 1 項目以下 …… d	
		区画線工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 …… a 該当 3 項目 …… b 該当 2 項目 …… c 該当 1 項目以下 …… d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来ばえ	電線共同溝工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 …… a 該当 2 項目 …… b 該当 1 項目 …… c 該当項目なし …… d	
		機械設備工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 …… a 該当 3 項目 …… b 該当 2 項目 …… c 該当 1 項目以下 …… d	
		電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 …… a 該当 4 項目 …… b 該当 3 項目 …… c 該当 2 項目以下 …… d	



工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来ばえ	港湾築造工事 (海岸築造工事を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物等の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		港湾浚渫工事 (地盤改良工事を含む) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 浚渫及び盛上がり等の土砂が適切に処理されてい		該当 3 項目以上 ……a 該当 2 項目 ……b 該当 1 項目 ……c 該当項目なし ……d	
		水路等コンクリート二次製品設置工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 製品のかみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		ほ場整備工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 整地仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 営農に十分配慮された施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 水路や道路の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 法面仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 吸水渠、集水渠、水閘、排水口の配置が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 ……a 該当 4 項目以上 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		林道工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 切取・盛土法面の仕上げが良く、規定された法勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物等の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の天端仕上げ、端部仕上げ等が良く、地山とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 路面仕上げ、敷砂利が良好に施工されており路面状況が良い。 <input type="checkbox"/> 排水施設の施工が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 ……a 該当 4 項目以上 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		魚礁設置工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 沈設位置の精度が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		ため池工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 全体的な美観が優れている。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 波除ブロック等の施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。		該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	

工事成績採点の考査項目別運用表(土木工事)

検査員

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	. 出来ばえ	シールド工事 (一次覆工) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> シールドトンネル構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> コンクリート系セグメントの表面に補修箇所がなく、肌がよい、または、銅製セグメントの有害な変形がなく、溶接箇所等に亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		該当 4 項目以上 ……a 該当 3 項目 ……b 該当 2 項目 ……c 該当 1 項目以下 ……d	
		シールド工事 (二次覆工) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物にクラックがなく肌が良い、または、内挿管の継手部の仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 勾配が均一で水溜まりがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 既設管との接続部の仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		下水道工事 (開削) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> マンホール・樹等の目地仕上がりがよい。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> マンホール・樹等と既設路面との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 管路の通り、状態がよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。		該当 6 項目以上 ……a 該当 4～5 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		下水道工事 (推進) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> 管路の通りがよい。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 管目地、注入孔の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。		該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		管更生工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされており、傷または、補修痕がない。 <input type="checkbox"/> 管口の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> しわ、膨れがない。 <input type="checkbox"/> 真円度がよい。 <input type="checkbox"/> 嵌合、融着の状態がよい。		該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
		上水道工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 窠及びボックスと路面とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 新設舗装と既存舗装との間に段差がなく破損やクラックもない。 <input type="checkbox"/> 付帯工事を含め、全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・消火栓等の収まりが良い。 <input type="checkbox"/> 完成図書の的確で見やすく作成されている。		該当 5 項目以上 ……a 該当 4 項目 ……b 該当 3 項目 ……c 該当 2 項目以下 ……d	
				上記以外の工事 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：	

該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が特に良好である	施工体制が良好である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 工事カルテを事前に監督員の確認を受け、契約締結後10日以内に登録機関に申請が完了している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人及び主任(監理)技術者届、当初契約工程表が契約締結後14日以内に提出されている。 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者が工事途中及び立会検査等の事前に現場の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 <input type="checkbox"/> 「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 労災保険関係成立表を公衆の見やすい場所に掲示している。 <input type="checkbox"/> 建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、主任(監理)技術者を正しく記載している。 <input type="checkbox"/> 工事下請通知書と施工体制台帳等を下請工事の着手日までに提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳を現場に備え付け、かつ適宜変更の都度同一のものを提出している。 <input type="checkbox"/> 下請負契約書(写)又は請書(写)及び再下請通知書を添付している。 <input type="checkbox"/> 施工体系図の内容が適正であり、かつ工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 <input type="checkbox"/> 施工体系図に記載のない業者が作業していない。 <input type="checkbox"/> 受注者が、その下請工事の施工に実質的に関与している。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p> </div>			

## 工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	II. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
		<p style="text-align: center;">[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人は、現場に常駐している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員への連絡調整、協議等を書面で行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監理技術者(主任技術者)が現場に専任している。</p> <p><input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者は、施工計画や工事に係わる工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫又は、提案をもって工事を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 書類及び資料が適切に整理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制、施工状況を把握し、下請負業者、部下等をよく指導している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>				
		<p style="text-align: right;"> <input style="width: 50px;" type="text"/> / <input style="width: 30px;" type="text"/> = <input style="width: 50px;" type="text"/> %                 </p>				
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>				
		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( )%=( )評価数/( )対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>				

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が特に良好である	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場に相違がある場合、その事実が確認できる資料を提示して確認を受けている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、設計図書及び現場条件を反映した内容の施工計画書を提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料が事前に監督員に承諾され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 品質管理確保のための対策など、施工に関する工夫を書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工途中の出来形、品質管理が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> 監督員の立会にあたって予め連絡をしている。 <input type="checkbox"/> 段階確認の確認時期が、適切である。 <input type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物が産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されている。 <input type="checkbox"/> 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書及び、産業廃棄物処理計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 <input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 理由( )			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。  <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。	
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	$\frac{\quad}{\quad} = \quad\% $ ① 当該「評価対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値( ) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数 ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。			

### 工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a 工程管理が優れている	b 工程管理が良好である	c 他の事項に該当しない	d 工程管理がやや不備である	e 工程管理が不備である
2. 施工状況	II. 工程管理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 実施工程表が提出され、工程の管理を行っており、関連工事との調整も適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工期及び、内容変更が伴う場合、変更協議が書面にて行われ、契約後14日以内に変更工程表が提出されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び入居者等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 受注者の責による夜間や休日の作業がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> </div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> <input style="width: 50px;" type="text"/> / <input style="width: 50px;" type="text"/> = <input style="width: 50px;" type="text"/> %                 </p> <p>                     該当項目が90%以上 ..... a                      該当項目が80%以上90%未満 ..... b                      該当項目が80%未満 ..... c                 </p> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p> </div>	

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である	
	<input type="checkbox"/>	〔評価対象項目〕 <input type="checkbox"/> 災害防止協議会等を設置し、1回／月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回／月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工の設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		_____ / _____ = _____ %			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             ① 当該「評価対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。              ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。              ③ 評価値( )%=( )評価数/( )対象評価項目数              ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。           </div>		
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目80%未満 ..... c					

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が優れている	対外関係が良好である	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備である	対外関係が不備である
	<input type="checkbox"/>	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整をしている。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、近隣住民(入居者等)との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適切に行い、その内容の報告がある。 <input type="checkbox"/> 隣接工事又は、施工上密接に関連する工事と相互に協力を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 <input type="checkbox"/> 現場のイメージアップに取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 引渡し時に入居者等に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上 ..... a <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値(    %) = (    )評価数 / (    )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。                 </div>			



工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/>  建築共通	出来形が優れている	出来形が良好である	他の事項に該当しない	出来形がやや不備である	出来形が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。 <input type="checkbox"/> 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		<p>_____ / _____ = _____ %</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a            該当項目が80%以上90%未満 ..... b            該当項目が80%未満 ..... c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。            ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。            ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数            ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p> </div>	

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/>  プラント工事	出来形が優れている	出来形が良好である	他の事項に該当しない	出来形がやや不備である	出来形が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形を写真撮影している。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <p>[評価対象項目] 機械設備</p> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 墨出し・芯出しの出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 気密・水圧試験等の出来形管理を適切にまとめている。 <p>[評価対象項目] 電気設備</p> <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かりやすく堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的実施している。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ ) <p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a                      該当項目が80%以上90%未満 ..... b                      該当項目が80%未満 ..... c</p>			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>				

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質が優れている	品質が良好である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である
	<input type="checkbox"/> 建築工事  工事比率 <input type="text"/>	[評価対象項目] 建築工事(躯体工事) <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 [評価対象項目] 建築工事(仕上工事) <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 [評価対象項目] 建築工事(その他共通) <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/>				
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... b 該当項目が80%未満 ..... c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数 ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。			

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質  <input type="checkbox"/>  電気工事  工事比率 <input type="text"/>	品質が優れている	品質が良好である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である	
		<p>[評価対象項目] 電気工事(機材)</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p>[評価対象項目] 電気工事(施工)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
		<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/></p> <p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>			

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質  <input type="checkbox"/>  給排水空調 機械設備 工事比率 <input type="checkbox"/>	品質が優れている	品質が良好である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である	
		<p>[評価対象項目] 機械設備(機材)</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。</p> <p>[評価対象項目] 機械設備(施工)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
		<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/></p> <p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>			

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質  <input type="checkbox"/>  プラント工事  <input type="checkbox"/>	品質が優れている	品質が良好である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である
		<p>[評価対象項目] 共通項目</p> <p><input type="checkbox"/> 製作着手前に、設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、品質や性能の確保に係る技術検討を実施のうえ、承諾図書を提出している。</p> <p><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性に優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> プラント設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</p> <p>[評価対象項目] 機械設備</p> <p><input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。</p> <p><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</p> <p>[評価対象項目] 電気設備</p> <p><input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 高温部、充電部等の危険箇所に表示又は防護している。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p> <p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/></p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p>						



工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する又は同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居者等を含む)との調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 工程管理が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目数なし …… c		
	III. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが顕著である。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			<input type="checkbox"/> 安全管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 安全対策が不備である。
		該当項目数5以上 …………… a	該当項目数1以上5未満 …… b	該当項目数なし …… c		



工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の事項に該当しない場合
		<input type="checkbox"/> 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 広報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				
		該当項目数6以上 ..... a 該当項目数5以上6未満 ..... a' 該当項目数3以上5未満 ..... b 該当項目数1以上3未満 ..... b' 該当項目なし ..... c				

※地域への貢献とは、工事施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

監督員上司

審査項目	法令遵守等の該当項目一覧表																											
7. 法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">措置内容</th> <th style="width: 20%;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし</td> <td style="text-align: center;">-0点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td>8. 現場内で、労働災害が発生した場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合</td> <td style="text-align: center;">- 5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)</td> <td style="text-align: center;">- 3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例</td> <td style="text-align: center;">- □点</td> </tr> </tbody> </table>	措置内容	点数	<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点	8. 現場内で、労働災害が発生した場合		<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点	<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点	<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点	<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点	
措置内容	点数																											
<input type="checkbox"/> 1. 項目該当なし	-0点																											
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止3ヶ月以上	-20点																											
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																											
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																											
<input type="checkbox"/> 5. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																											
<input type="checkbox"/> 6. 文書注意	- 8点																											
<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	- 5点																											
8. 現場内で、労働災害が発生した場合																												
<input type="checkbox"/> 労働災害の事案が複数回発生しており、労働基準監督署から複数回「是正勧告書」や「指導票」が交付された場合	- 8点																											
<input type="checkbox"/> 労働基準監督署から、「是正勧告書」が交付された場合	- 5点																											
<input type="checkbox"/> 労働災害が軽微であるため口頭注意以上の処分が無かった場合、休業4日以上の労働災害が発生した場合、休業4日未満であっても、労働基準監督署から、「指導票」が交付された場合、又は、物損公衆災害(工事作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故)例)架線の断線、上下水道等の公共施設の破損等)	- 3点																											
<input type="checkbox"/> 9. その他の適応事例	- □点																											
	<p>※当該工事現場に対する法令遵守のみの評価とする。(他工事現場での違反は評価しない。)</p> <p>※完成検査日までの処分内容で評価する。(完成検査日以降に処分が出たものは評価しない。)</p> <p style="text-align: center;"><b>点</b></p>																											
	<p>① 本評価項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。</p> <p>④ 社会保険等未加入業者と下請契約(2次以降の下請契約含む。)し、完成検査日までに、社会保険等への加入が確認できなかった場合は、「9. その他の適応事例」の項目で2点を減じる措置を行う。</p>																											
	<p>【上記で評価する場合の適応事例】 ※適応事例にレ点をする。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 労働者の宿舍環境等について労働安全基準法上違反があり、送検等された。</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 建設業法に違反する事実が判明した EX)一括下請け、技術者の専任違反等</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 低入札調査で虚偽の報告があった。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 重大又は悪質な不備があった場合において、松山市建設工事・委託業務監督実施要領に定める是正要求が行われた。(文書注意)</p> <p><input type="checkbox"/> 18. その他(理由: )</p>																											

工事成績採点の考查項目別運用表 (建築、電気、機械、プラント工事)

監督員上司

考 査 項 目	細 別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	施工条件への対応 キーワード評価 土木、建築工事 共通	<p>施工規模の大きさへの対応</p> <p>1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. その他(該当があればチェックして理由を記入。)</p> <p>理由:</p>	<p>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合(該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 切土・盛土工 2.0万m<sup>3</sup>以上 <input type="checkbox"/> 護岸・築堤高 10m以上 <input type="checkbox"/> トンネル(タ-ト) 直径8m以上</p> <p><input type="checkbox"/> ダム用水門 設計水深25m以上 <input type="checkbox"/> 橋門・樋管 内空間断面積15m<sup>2</sup>以上 <input type="checkbox"/> 排水機場 吐出管径2,000mm以上</p> <p><input type="checkbox"/> 堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m<sup>2</sup>/門 <input type="checkbox"/> トンネル(開削工法) 開削深さ20m以上</p> <p><input type="checkbox"/> トンネル(NATM) 内空間断面積 100m<sup>2</sup>以上 <input type="checkbox"/> トンネル(沈埋工法) 内空間平均面積300m<sup>2</sup>以上</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物、研究所等特殊設備・機能の有る建物 <input type="checkbox"/> 地滑り防止工 幅100m以上 又は法長150m以上</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫工 100万m<sup>3</sup>以上 <input type="checkbox"/> 流路工の計画高流量500m<sup>3</sup>/s以上 <input type="checkbox"/> 砂防ダム 堤高15m以上</p> <p><input type="checkbox"/> ダム高 150m以上 <input type="checkbox"/> 転流トンネル 流下能力400m<sup>3</sup>/s以上 <input type="checkbox"/> 橋梁下部工 高さ 30m以上</p> <p><input type="checkbox"/> 橋梁上部工 最大支間長 100m以上 <input type="checkbox"/> 延べ面積10,000m<sup>2</sup>以上の建物 <input type="checkbox"/> 地上9階以上の建物、又は建築高さ31m以上の建物</p>
		<p>構造物固有の難しさへの対応</p> <p>3. 対象構造物の形状の複雑さ(土盛り厚やトンネル線形等を含む)</p> <p>4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p>5. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】(該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 地山強度が低い。また土盛りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 供用中の施設の改修工事等。</p>
		<p>技術固有の難しさへの対応</p> <p>6. 工種及び工法の特長性</p> <p>7. 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用</p> <p>8. N E T I S の評価試行方式を適用</p> <p>9. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【事例：技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。】</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において 類及びA類に属する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で耐震及び免震構造の工事</p> <p><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事</p> <p><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事</p> <p><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工場所や構造物の特長性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事の特許工法等の技術的に検討が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> その他、コンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等</p> <p><input type="checkbox"/> VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。</p> <p><input type="checkbox"/> N E T I S の評価試行方式を適用した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p> <p>(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p> <p>(左欄のその他に理由を記入。)</p>
		<p>厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p>10. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p>11. 軟弱地盤・支持地盤の状況</p> <p>12. 河川内・海域・急峻な地盤条件下及び工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p>13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</p> <p>14. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</p> <p>15. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【事例：自然及び地盤条件への対応工法等】(該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本専ら地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 軟弱地盤上の連続盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数を的確に把握した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く)</p> <p><input type="checkbox"/> 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p> <p>(左欄のその他に理由を記入。)</p>
		<p>厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p>16. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p>17. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線、供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</p> <p>18. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p>19. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p>20. 生活道路を利用するの資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約</p> <p>21. 現道上で、特に交通規制及びその処理に伴う作業</p> <p>22. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p>23. その他</p> <p>理由:</p> <p>施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 災害等での臨機の処置(該当があればチェック)</p> <p>25. 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等</p> <p>26. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】(該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道営業線や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガスパイプ・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地等の家庭密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 供用中の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。</p> <p><input type="checkbox"/> 供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 大気圧を超える気圧下の作業室での工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 隙欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事</p> <p><input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で特に困難な調整を要する他工事(近接工事)の請負者が複数ある工事(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> 建築工事で外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</p>
	<p>その他</p> <p>27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項</p> <p>理由:</p> <p>28. その他(加点が1点の場合)</p> <p>理由:</p>	<p>【その他】(該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。</p> <p>(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(加点が1点の場合)</p>	
0	<p>記述評価</p> <p>【マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p>	<p>評点:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事特性により、加点評価する</li> <li>・ 加点は+2.0点-0.0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。</li> <li>・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。</li> </ul>	<p>【施工条件のキーワードの詳細】</p>

1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 2. 詳細評価の記述にあたっては、担当課内での責任者による協議とし、各考查項目はキーワードで大分類し、評価する詳細を記述する。  
 3. 工事特性は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫、また様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の審査項目別運用表 (建築、電気、機械、プラント工事)

審査項目	細別	工事特性キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	. 施工条件への対応 キーワード評価 プラント工事 共通	<p>施工規模の大きさへの対応</p> <p>1. 対象プラント設備の処理能力、容量、数量等の規模</p> <p>2. その他 (該当があればチェックして理由を記入。)</p> <p>理由:</p>	<p>【事例】具体的な評価技術力項目が、高度技術で評価できる場合 (該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械・電気 (環境)): 処理能力が150t/日・基以上の廃棄物処理施設</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (みなと)): ガントリークレーン</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (下水道・水道)): 対象水量10,000 /日以上の浄水場・下水処理場プラント</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (下水道・水道)): 対象水量50,000 /日以上の各種ポンプ場プラント</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (下水道・水道)): プラントの処理能力が施設能力比60%を超える</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 受変電設備; 受電電圧1000V 以上、又は総容量1000kVA 以上</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 負荷設備; 一負荷最大300kW 以上、又は総負荷数 (三相負荷) が30 以上</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 監視制御設備; 監視点数500 点以上</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 設置盤面数が10 面以上</p> <p><input type="checkbox"/> その他、プラント固有の処理能力、容量、数量等の規模への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
		<p>プラント設備固有の難しさへの対応</p> <p>3. 対象プラント設備の構造、形状、機能等の複雑さ</p> <p>4. 既設プラント設備の改修、撤去等特殊な工事</p> <p>5. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【プラント設備固有の難しさ】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 (該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (環境)): 燃焼設備、ボイラー設備、発電設備等)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (下水道・水道)): 急速砂る過設備、消化タンク設備、汚泥焼却設備、脱水機設備等)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (みなと)): 巻上装置・横行装置・起伏装置等)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (水道)): サージタンク他2つ以上のウォータハンマー対策の必要なポンプ設備、浄水場機械設備 (単体発注分を除く)、排水処理機械設備 (単体発注分を除く)、高度浄水処理設備)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 特高用機器、発電機 (500kVA 以上)、アクティブフィルタ、PIM コンバータ、CRT 監視制御装置)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (環境)): 制御用計算機設備、I D F インバータ)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (下水道)): 降雨レダ設備)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (みなと)): 電気式連立装置、自動運転装置、モニタリング装置)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (水道)): 送水ポンプ2系統以上自動制御、多重無線設備、制御用計算機設備、配水池流量制御 (圧力補正あり)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (交通)): 鉄道用直流設備、電力管理システム、運動装置 (20 通路以上)、自動列車制御装置、軌道回路装置、運行管理システム、列車無線装置)</p> <p><input type="checkbox"/> (機械 (共通)): ガスホルダ、消化槽機械攪拌機、ドラフトチューブ、プロワ、ガスタービンエンジン、ボイラーチューブ等)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (共通)): 特高用変圧器、発電機 (500kVA 以上)</p> <p><input type="checkbox"/> (電気 (交通)): 整流器 (2000kW 以上)</p> <p><input type="checkbox"/> 既設プラントに対して、設備の全面的な更新やそれに伴う大幅なシステムの変更、大規模な改修。(高度処理改修工事等、既設設置時に予定されていないものでかつ、大幅な機能変更を伴うもの)</p> <p><input type="checkbox"/> その他、プラント固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
		<p>技術固有の難しさへの対応</p> <p>6. 工種及び工法の特異性</p> <p>7. 新工法 (機器類を含む) 及び新材料の適用</p> <p>8. その他</p> <p>理由:</p>	<p>【技術固有の難しさへの対応】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 (該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 重量が1t 以上の機器を、地上10m を超える場所または地下10m 以下の場所に設置、または重量5 t 以上の機器を設置する場合</p> <p><input type="checkbox"/> 機械 (環境): ボイラーチューブの溶接及び蒸気タービン等</p> <p><input type="checkbox"/> 機械 (下水道・水道): ガスタービン、プロワなどの高速回転機器、ガスタンク設備、消化槽機械攪拌機、ドラフトチューブ等</p> <p><input type="checkbox"/> 機械 (下水道・みなと・水道): 船舶・潜水作業等</p> <p><input type="checkbox"/> 電気 (共通): 胴体断面150mm以上の低圧ケーブル布設または100 心以上の制御ケーブル布設</p> <p><input type="checkbox"/> 電気 (共通): 特高・高圧ケーブル布設</p> <p><input type="checkbox"/> 電気 (交通): 直流式電ケーブル布設、電車線路架設</p> <p><input type="checkbox"/> 機械・電気 (環境以外): 停止可能期間が数時間以下の既設プラントを改修、撤去する場合</p> <p><input type="checkbox"/> 機械・電気 (環境): 停止可能期間が1日以下の既設プラントを改修、撤去する場合</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊な工法及び材料等を用いた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工方法に関して特に高度な技術を要する新技術等を採用している</p> <p><input type="checkbox"/> コンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工場所やプラントの特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事</p> <p><input type="checkbox"/> 技術提案された工法等が高度技術として評価できる場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他、施工工法の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p>
		<p>各種条件・環境又は土木 (建築) 構造物等の状況等の施工条件への対応等</p> <p>9. 自然条件による制限</p> <p>10. 土木 (建築) 構造物の状況による制限</p> <p>11. 工用道路、作業用スペース等の制約</p> <p>12. 騒音振動水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p>13. 災害等での臨機処置</p>	<p>【構造物等の状況等の施工条件への対応等】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 (該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 自然条件による既設プラントの運転状況の変化により、工期及び施工方法の設定に制限があった工事</p> <p><input type="checkbox"/> 自然条件によって作業に著しい影響が生じた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 土木 (建築) 構造物の状況により、プラント据付に関して詳細な調査を実施する他、荷重等を確認しながら再設計した工事</p> <p><input type="checkbox"/> 土木 (建築) 構造物の状況により、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工場所が狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設条件の制約が厳しい。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事</p> <p><input type="checkbox"/> 振興策が工期に大きな影響を与えた工事</p> <p><input type="checkbox"/> 施工期間中に災害等が発生したが、その被害を最小限に止める適切な処置を行った工事</p>
		<p>その他</p> <p>14. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項</p> <p>理由:</p> <p>15. その他 (加点が1点の場合)</p> <p>理由:</p>	<p>【その他】 (該当項目をチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。(左欄のその他に理由を記入。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (加点が1点の場合)</p>
0	記述評価	<p>【マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p> <p>評点:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事特性により、加点評価する</li> <li>・ 加点は+2.0点 - 0.0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。</li> <li>・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。</li> </ul>	<p>【施工条件のキーワードの詳細】</p>

1. 工事特性とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 2. 詳細評価の記述にあたっては、担当課内での責任者による合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細を記述する。  
 3. 工事特性は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

検査員

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理が良好である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行い、適切に処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が、工事着手前に提出され、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書等に、独自の管理基準等を作成し、出来形・品質管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事記録の整備が、適時適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時、適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用する建築材料・設備機材（以下「材料・機材」という。）の調達計画が適切であり、管理がよい。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内検査が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	0	<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... b</p> <p>該当項目が80%未満 ..... c</p>			<p>_____ / _____ = _____ %</p>	
<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p>						

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/>  建築共通  0	出来形が優れている	出来形が概ね優れている	出来形が良好である	出来形が概ね良好である	他の事項に該当しない	出来形がやや不備である	出来形が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 <input type="checkbox"/> 自主管理目標値を設定するなど、創意工夫を持って管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。  <input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
		<p>_____ / _____ = _____ % _____</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a                      該当項目が80%以上90%未満 ..... a'                      該当項目が70%以上80%未満 ..... b                      該当項目が60%以上70%未満 ..... b'                      該当項目が60%未満 ..... c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。                      ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                      ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数                      ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>		

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質が優れている	品質が概ね優れている	品質が適切である	品質が概ね適切である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である	
	<input type="checkbox"/> 建築工事 <input type="checkbox"/> 工事比率	[評価対象項目] 建築工事 <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/>							
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... a' 該当項目が70%以上80%未満 ..... b 該当項目が60%以上70%未満 ..... b' 該当項目が60%未満 ..... c					① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数 ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。		

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質が優れている	品質が概ね優れている	品質が適切である	品質が概ね適切である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である
	<input type="checkbox"/> 電気工事 工事比率 <input type="text"/>	[評価対象項目] 電気工事 <input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
	0	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/>						
		該当項目が90%以上 ..... a 該当項目が80%以上90%未満 ..... a' 該当項目が70%以上80%未満 ..... b 該当項目が60%以上70%未満 ..... b' 該当項目が60%未満 ..... c				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数 ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。		



工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質  給排水空調 機械設備工事 工事比率	品質が優れている	品質が概ね優れている	品質が適切である	品質が概ね適切である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である
		<p>[評価対象項目] 機械設備工事</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質が、適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>_____ / _____ = _____ % _____</p> <p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 ..... b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満 ..... b'</p> <p>該当項目が60%未満 ..... c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p>		

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度がやや悪い
	<input type="checkbox"/> 建築工事 <input type="checkbox"/> 工事比率	[評価対象項目] 建築工事 <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 <input type="checkbox"/> 保身に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			
		$\frac{\text{ } \quad \quad \quad}{\text{ } \quad \quad \quad} = \text{ } \% \quad \text{ } \quad \quad$			
		該当項目が80%以上 ..... a 該当項目が70%以上80%未満 ..... b 該当項目が40%以上70%未満 ..... c 該当項目が40%未満 ..... d			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は『-』を入れる。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                          ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                          ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。                     </div>			

工事成績採点の審査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度がやや悪い
	<input type="checkbox"/> 電気工事  工事比率 <input type="text"/>	[評価対象項目] 電気工事 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 保身に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			
		<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % <input type="text"/>			
		該当項目が80%以上 ..... a 該当項目が70%以上80%未満 ..... b 該当項目が40%以上70%未満 ..... c 該当項目が40%未満 ..... d			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                          ③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数                          ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。                     </div>			

工事成績採点の考查項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考查項目	細別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度がやや悪い
	<input type="checkbox"/> 給排水空調 <input type="checkbox"/> 機械設備工事 <input type="checkbox"/> 工事比率	[評価対象項目] 機械設備工事 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 保全に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )			
		$\square \quad / \quad \square = \square \% \quad \square$			
		該当項目が80%以上 ..... a 該当項目が70%以上80%未満 ..... b 該当項目が40%以上70%未満 ..... c 該当項目が40%未満 ..... d			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は「-」を入れる。                          ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。                          ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数                          ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合は細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。                     </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細目	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形  <input type="checkbox"/>  プラント工事	出来形が優れている	出来形が概ね優れている	出来形が良好である	出来形が概ね良好である	他の事項に該当しない	出来形がやや不備である	出来形が不備である	
		<p>[評価対象項目] 共通事項</p> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状、寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 予備品・付属品が不足なく、よく整理され、納入されていることが確認できる。 <p>[評価対象項目] 機械設備</p> <input type="checkbox"/> 塗装及び溶接の管理基準が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 <p>[評価対象項目] 電気設備</p> <input type="checkbox"/> 配線・配管類が承諾図書及び仕様書を満足すると共に的確な施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )				<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
		<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px;"></div> <span>/</span> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px;"></div> <span>=</span> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px;"></div> <span>%</span> </div> <p>該当項目が90%以上 ..... a            該当項目が80%以上90%未満 ..... a'            該当項目が70%以上80%未満 ..... b            該当項目が60%以上70%未満 ..... b'            該当項目が60%未満 ..... c</p>				<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は「-」を入れる。              ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。              ③ 評価値( %) = ( )評価数 / ( )対象評価項目数              ④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に「-」を入れてC評価とする。</p> </div>			

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質  <input type="checkbox"/>  プラント工事	品質が優れている	品質が概ね優れている	品質が適切である	品質が概ね適切である	他の事項に該当しない	品質がやや不備である	品質が不備である
		<p>[評価対象項目] 共通事項</p> <p><input type="checkbox"/> 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> プラント設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</p> <p>[評価対象項目] 機械設備</p> <p><input type="checkbox"/> バルブの開度、計器類の運転範囲の表示等、保守・管理に配慮がなされていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 塗装及び溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>[評価対象項目] 電気設備</p> <p><input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していること確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>該当項目が90%以上 ..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満 ..... a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 ..... b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満 ..... b'</p> <p>該当項目が60%未満 ..... c</p>					<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評定対象外の評価項目は『-』を入れる。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値( %) = ( ) 評価数 / ( ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、削除後の対象評価項目数が2項目以下の場合には細別欄の□に『-』を入れてC評価とする。</p>	
		<p>_____ / _____ = _____ % _____</p>						

工事成績採点の考査項目別運用表（建築、電気、機械、プラント工事）

検査員

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れてい	全体的な完成度が良好である	他の事項に該当しない	全体的な完成度がやや悪い
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 15%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 10px;"></div> <p>プラント工事</p> </div> <div style="width: 80%;"> <p>[評価対象項目] 共通事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。</li> <li><input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。</li> <li><input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。</li> <li><input type="checkbox"/> プラント設備として高い品質・性能が確保されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 運転及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</li> <li><input type="checkbox"/> その他 理由( _____ )</li> </ul>   <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 15px;"></div> <span>/</span> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 15px;"></div> <span>=</span> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> <span>%</span> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 15px;"></div> </div>   <p>該当項目が80%以上 ..... a</p> <p>該当項目が70%以上80%未満 ..... b</p> <p>該当項目が40%以上70%未満 ..... c</p> <p>該当項目が40%未満 ..... d</p> </div> </div>					

施工プロセスチェックリスト

1. 工事名 \_\_\_\_\_

2. 工 期 \_\_\_\_\_

3. 受注者 \_\_\_\_\_

工事担当課: \_\_\_\_\_

担当監督員: \_\_\_\_\_

- ①「施工プロセス」チェックリストは、標準仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に管理されているかを担当監督員が確認する。
- ②チェック欄には書類もしくは現場等で確認した月日を、その内容を確認し指示事項を記入する。備考欄には指示事項、是正状況、取り組み状況等を記入する。

審査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄 (指示事項等)							備考 (指示事項及びその是正状況等)			
				対象外	施 工 中(チェックの手引きを参考に適宜チェック欄を作成のこと。)							達成率		
1 施工 体制 一般	I 施工 体制 一般	○工事カルテ(コリンズ登録)	・事前に監督員の確認を受け、契約締結後10日以内(土、日曜日、祝祭日を除く)に登録機関に申請が完了している。 (受注契約後、変更契約後)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		○施工管理体制	・現場代理人及び主任(監理)技術者届、当初契約工程表が契約締結後14日以内に提出されている。 (受注契約後)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・主任(監理)技術者が工事途中及び立会検査等の事前に現場の確認を行っている。 (施工中、検査前等)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○建設業退職金共済制度	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。 (契約後1回程度)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。(施工中1回程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。(施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○労働保険関係成立票	・労災保険関係成立票を公衆の見やすい場所に掲示している。 (施工中1回程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○建設業許可標識	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、主任(監理)技術者を正しく記載している。(施工中1回程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○工事下請通知書 (施工体制台帳等)	・工事下請通知書と施工体制台帳等を下請工事の着手日までに提出している。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○施工体制台帳等に関する資料	・施工体制台帳を現場に備え付け、かつ適宜変更の都度同一のものを提出している。(施工時の当初、変更時)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
・下請負契約書(写)又は請書(写)及び再下請通知書を添付している。(施工時の当初、変更時)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
・施工体系図の内容が適正であり、かつ工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。(施工時の当初、変更時)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工中 1回/月程度)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
・受注者がある下請工事の施工に実質的に関与している。 (施工中適宜)	( / )		( / )		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			



施工プロセスチェックリスト

審査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄 (指示事項等)								備考 (指示事項及び その是正状況等)	
				対象外	施 工 中(チェックの手引きを参考に適宜チェック欄を作成のこと。)								達成率
1 施工 体制	II 配置 技術者	○現場代理人	・現場に常駐している。 (施工中 1回/月程度)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・監督職員への連絡調整、協議等を書面で行っている。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
		○監理技術者(主任技術者)の専任制等	・技術者としての要件が資格者証等により確認できた。 (着手前)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・配置予定技術者または現場代理人等通知書等に記載されている技術者が本人と同一であった。 (着手前)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・監理技術者(主任技術者)が現場に専任している。 (専任義務は建築一式工事7,000万円以上、その他工事3,500万円以上) (平成28年5月31日までは、建築一式工事5,000万円以上、その他工事2,500万円以上) (施工中 1回/月程度)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・施工計画や工事に係わる工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっている。 (施工中、打合せ時)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
	○専門技術者の配置	・専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	○作業主任者の選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
	○監理技術者(主任技術者)の能力	・施工に先立ち、創意工夫又は、提案をもって工事を進めている。 (施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		書類及び資料が適切に整理されている。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
・施工体制、施工状況を把握し、下請負業者、部下等をよく指導している。 (施工中適宜)			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
2 施工 状況	I 施工 管理	○設計図書の照査 等	・契約書第18条第1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行っている。 (着手前、施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
			・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
	○施工計画書	・施工に先立ち、設計図書及び現場条件を反映した内容のものが提出されている。 (着手前、変更時)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		・記載内容と現場体制が一致している。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		

施工プロセスチェックリスト

調査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄 (指示事項等)										備考 (指示事項及びその是正状況等)	
				対象外	施工中(チェックの手引きを参考に適宜チェック欄を作成のこと。)										達成率
2 施工 状況	I 施工 管理	○施工管理 ・工事材料の管理  ・出来形、品質管理	・工事材料が事前に監督員に承認され、適切に管理している。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
			・品質確保のための対策など、施工に関する工夫を書面で確認できる。 (施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
			・施工中の出来形、品質管理が書面で確認できる。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
			・現場内での整理整頓が、定期的に行われている。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		○検査(確認を含む)及び立会等の調整	・監督員の立会にあたって予め連絡をしている。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
		・段階確認の確認時期が、適切である。 (施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
	○建設副産物及び建設廃棄物	・受注者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示した。 (施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書及び、産業廃棄物処理計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
	○指定建設機械類の確認	・低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 (施工中1回程度)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
	II 工程 管理	○工程管理	・実施工程表が提出され、工程の管理を行っており、関連工事との調整も適切に行っている。 (着手前、施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
・工期及び、内容変更が伴う場合、変更協議が書面にて行われ、契約後14日以内に変更工程表が提出されている。 (施工中適宜)			<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
・現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 (施工中適宜)				( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			

施工プロセスチェックリスト

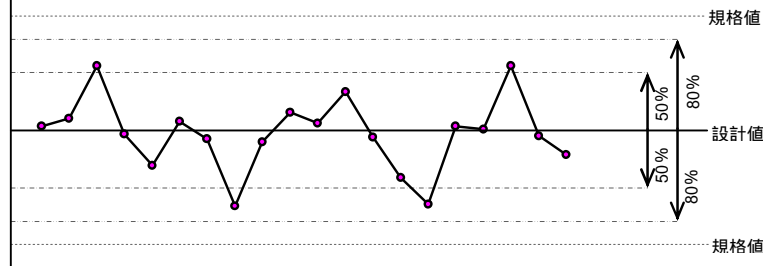
審査項目	細別	確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)	チェック欄 (指示事項等)							備考 (指示事項及び その是正状況等)				
				対象外	施 工 中(チェックの手引きを参考に適宜チェック欄を作成のこと。)							達成率			
2 施工 状況	Ⅲ 安全 対策	○安全活動	災害防止協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。(施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。(施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			過積載防止に十分に取り組んでいる。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。(施工中適宜)		( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			足場や支保工の設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )			
			IV 対 外 関 係	○関係機関等	工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整をしている。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
					工事施工にあたり、近隣住民(入居者等)との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適切に行い、その内容の報告がある。	<input type="checkbox"/>	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
隣接工事又は、施工上密接に関連する工事と相互に協力を行っていることが確認できる。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )				
工事の目的及び内容を、看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。(施工中適宜)	<input type="checkbox"/>	( / )			( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )				

## 出来形及び品質のばらつきの考え方

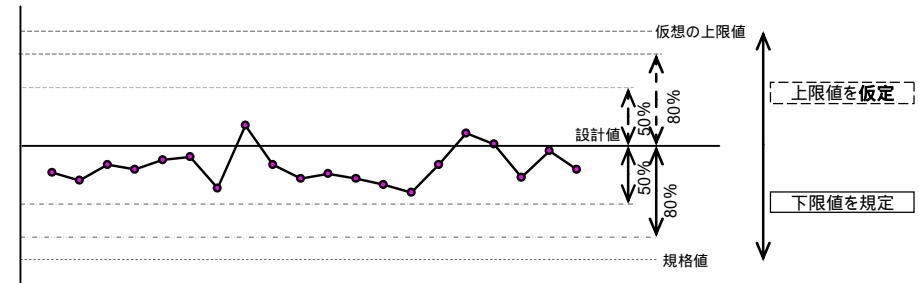
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

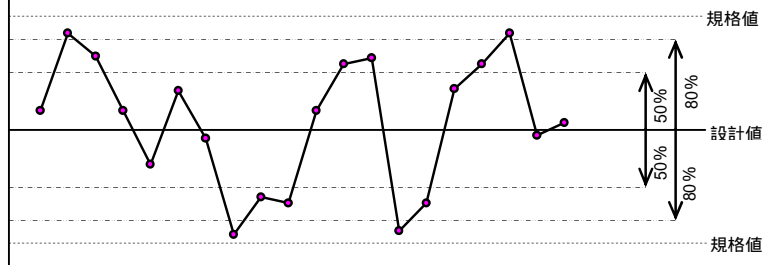
ばらつきが50%以下と判断できる例



(下限値のみの場合)



ばらつきが80%以下と判断できる例



**ばらつきが50%以下と判断できる例**

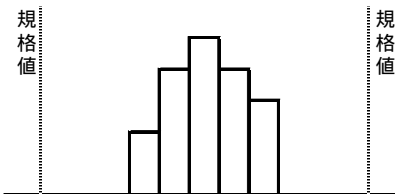
20測点中16測点(全体の8割以上)の数値が規格値の50%以内であり、かつ、その他の4測点の数値が規格値の80%以内であれば、「ばらつきが概ね50%以内である」と判断できるものとする。

**ばらつきが80%以下と判断できる例**

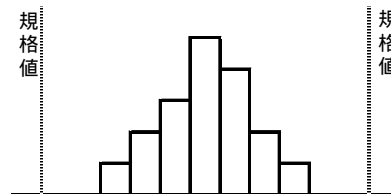
20測点中16測点(全体の8割以上)の数値が規格値の80%以内であり、かつ、その他の4測点の数値が規格値の規格値以内であれば、「ばらつきが概ね80%以内である」と判断できるものとする。

[度数表またはヒストグラムの場合]

ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい

